



2012年3月期 第3四半期

(2011年4~12月期)

決算説明会

2012年2月2日

ソフトバンク株式会社

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

※ 「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用に伴う注意事項や、本資料中で使用している用語の定義は、最終ページをご参照ください。

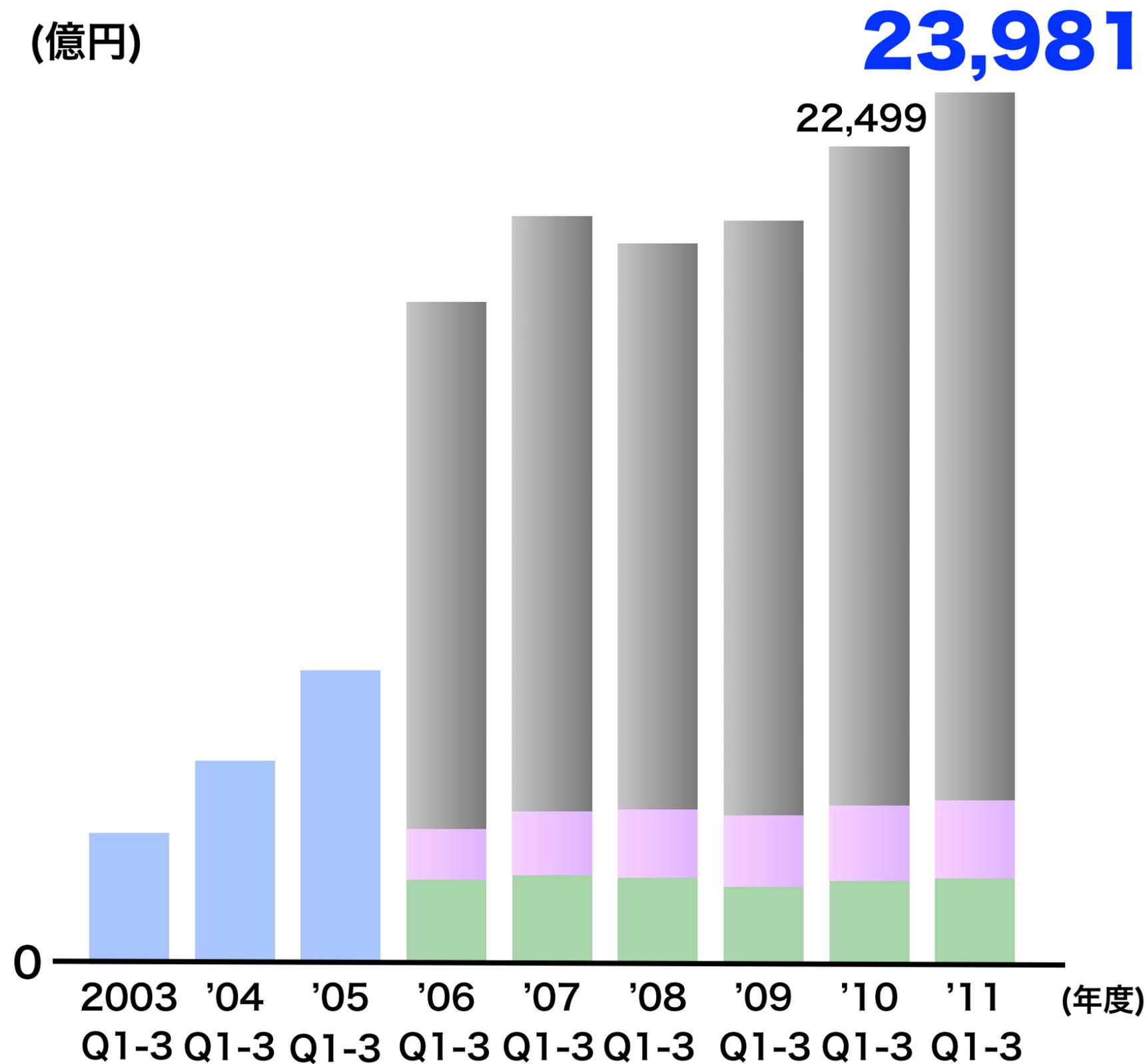
ハイライト

1. 営業利益 5,327億円
7期連続最高益

2. 純利益 2,500億円
3期連続最高益 (前期比+76%)

連結業績

(億円)



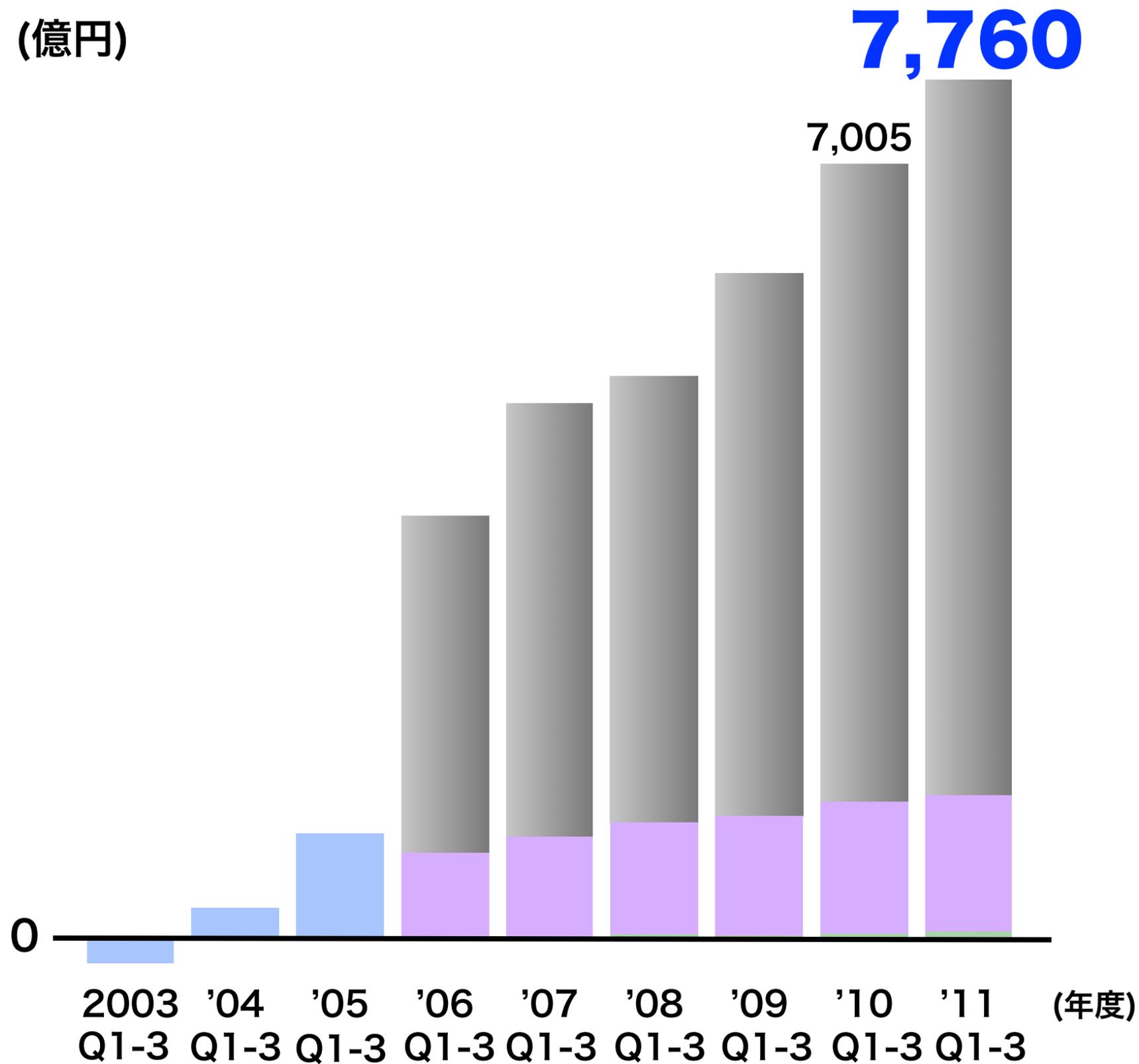
連結売上高

2期連続過去最高

7%増収

- 通信3事業
(移動体通信、BBインフラ、固定通信)
- インターネット・カルチャー
- その他

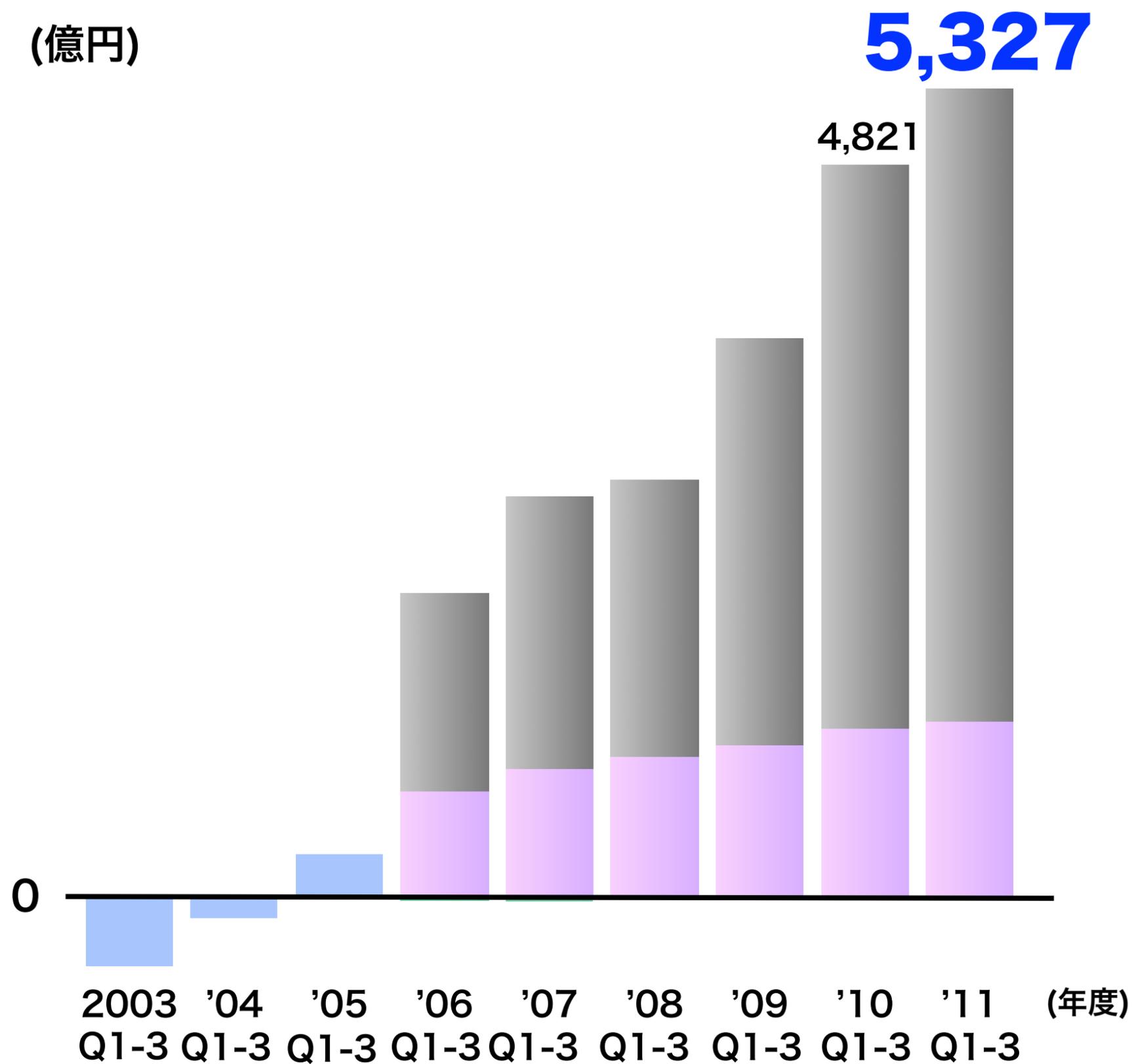
(億円)



連結EBITDA
8期連続最高益
11%増益

- 通信3事業
(移動体通信、BBインフラ、固定通信)
- インターネット・カルチャー
- その他

(億円)



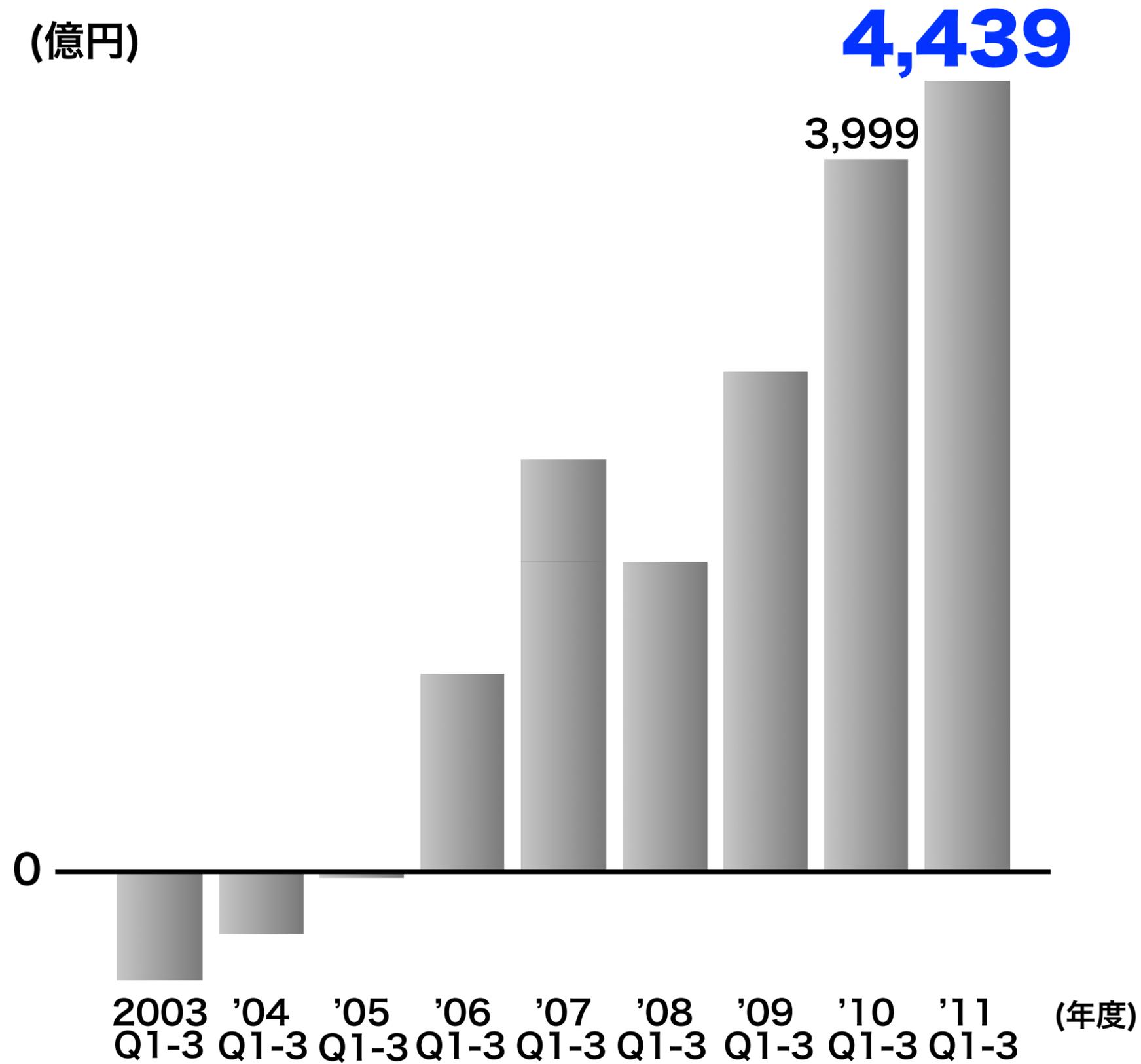
連結営業利益

7期連続最高益

10%増益

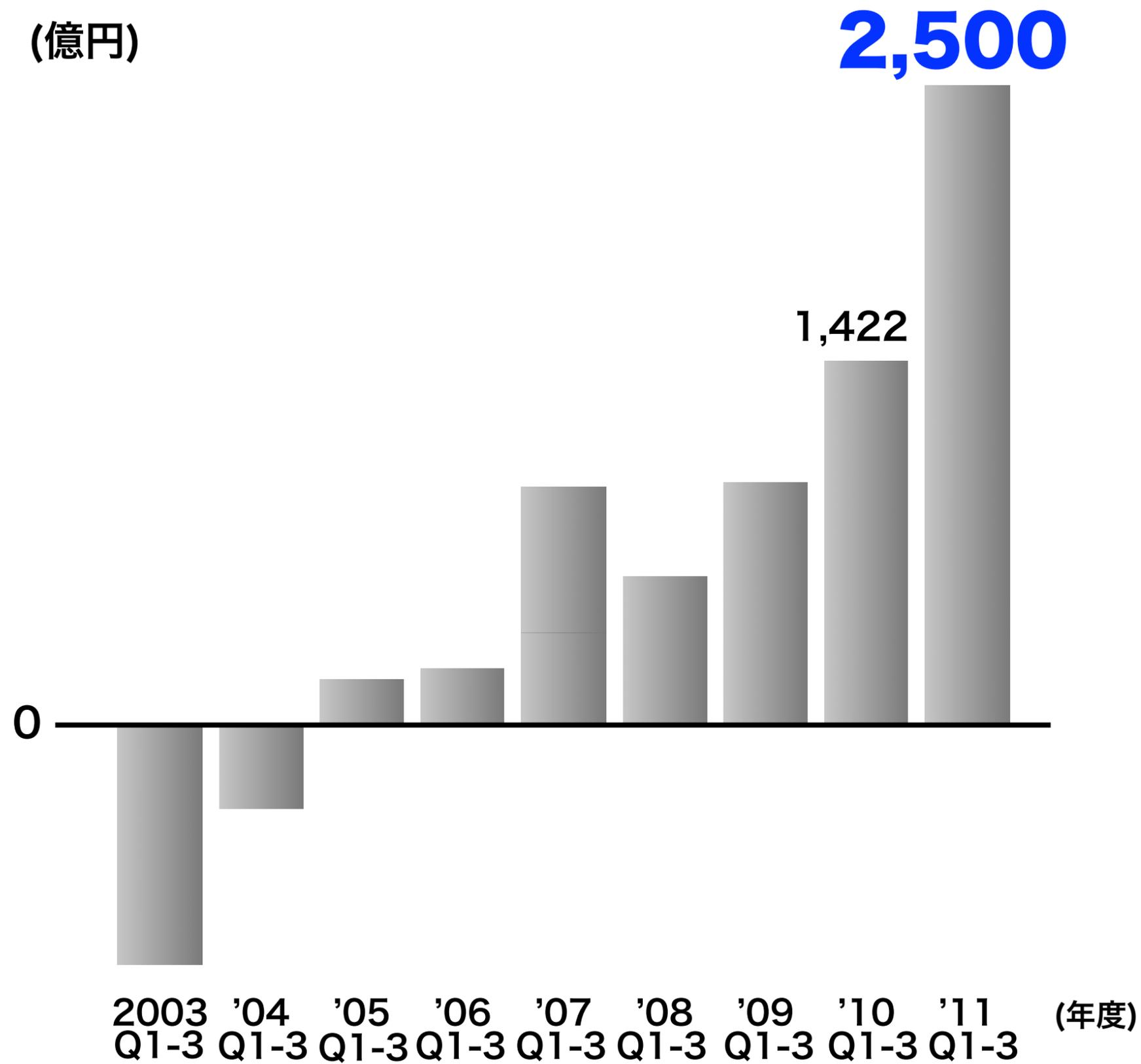
- 通信3事業
(移動体通信、BBインフラ、固定通信)
- インターネット・カルチャー
- その他

(億円)



連結経常利益
3期連続最高益
11%増益

(億円)



連結当期純利益
3期連続最高益
76%増益

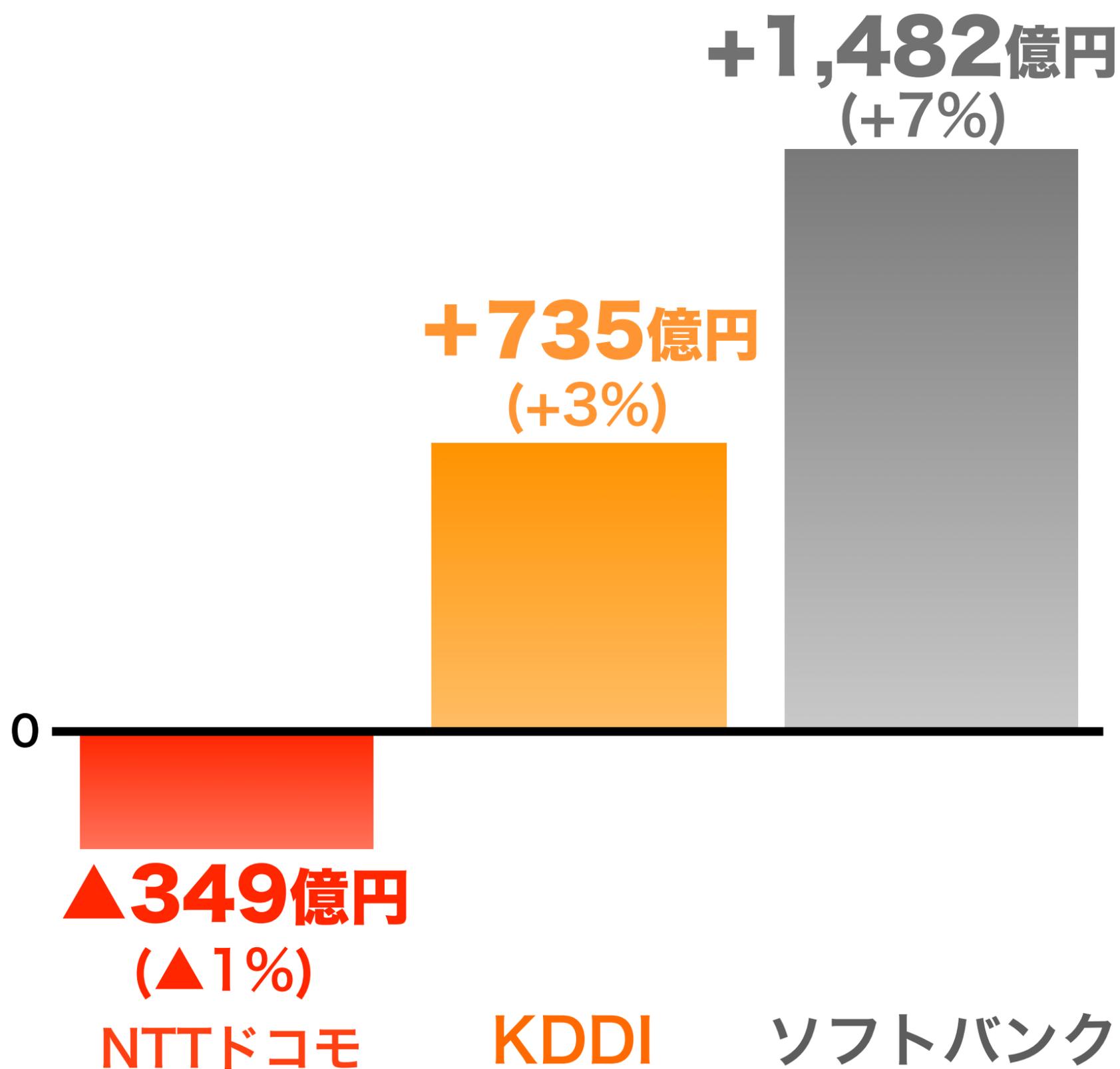
連結業績サマリー

(億円)

	10年度Q1-3 (10年4~12月)	11年度Q1-3 (11年4~12月)	増減	前期比
売上高	22,499	23,981	+1,482	107%
EBITDA	7,005	7,760	+755	111%
営業利益	4,821	5,327	+506	110%
経常利益	3,999	4,439	+440	111%
当期純利益	1,422	2,500	+1,077	176%

連結売上高 前期比増減 (2011年4~12月期)

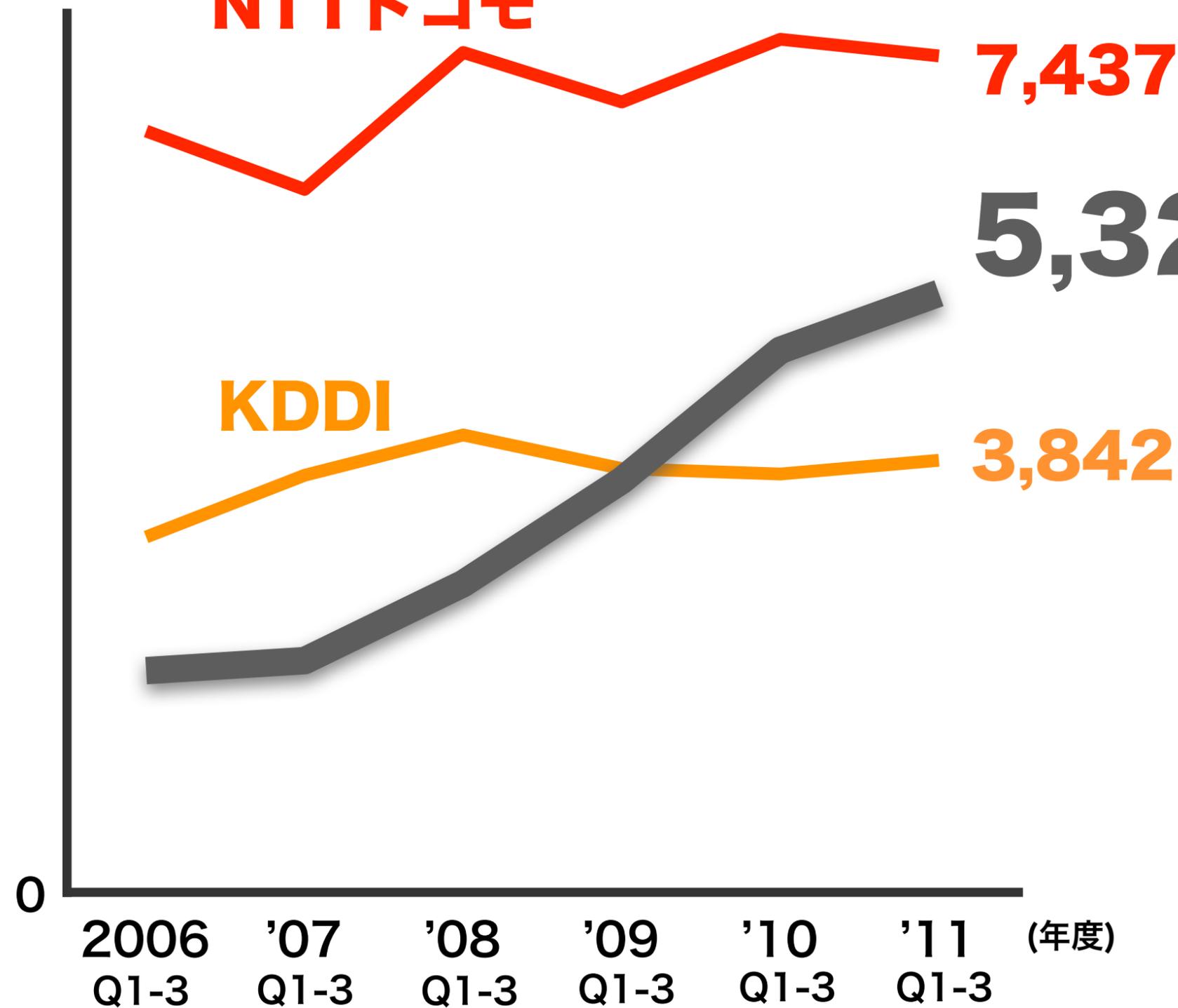
増収No.1



※各社の開示資料を基に当社作成

連結営業利益

(億円)



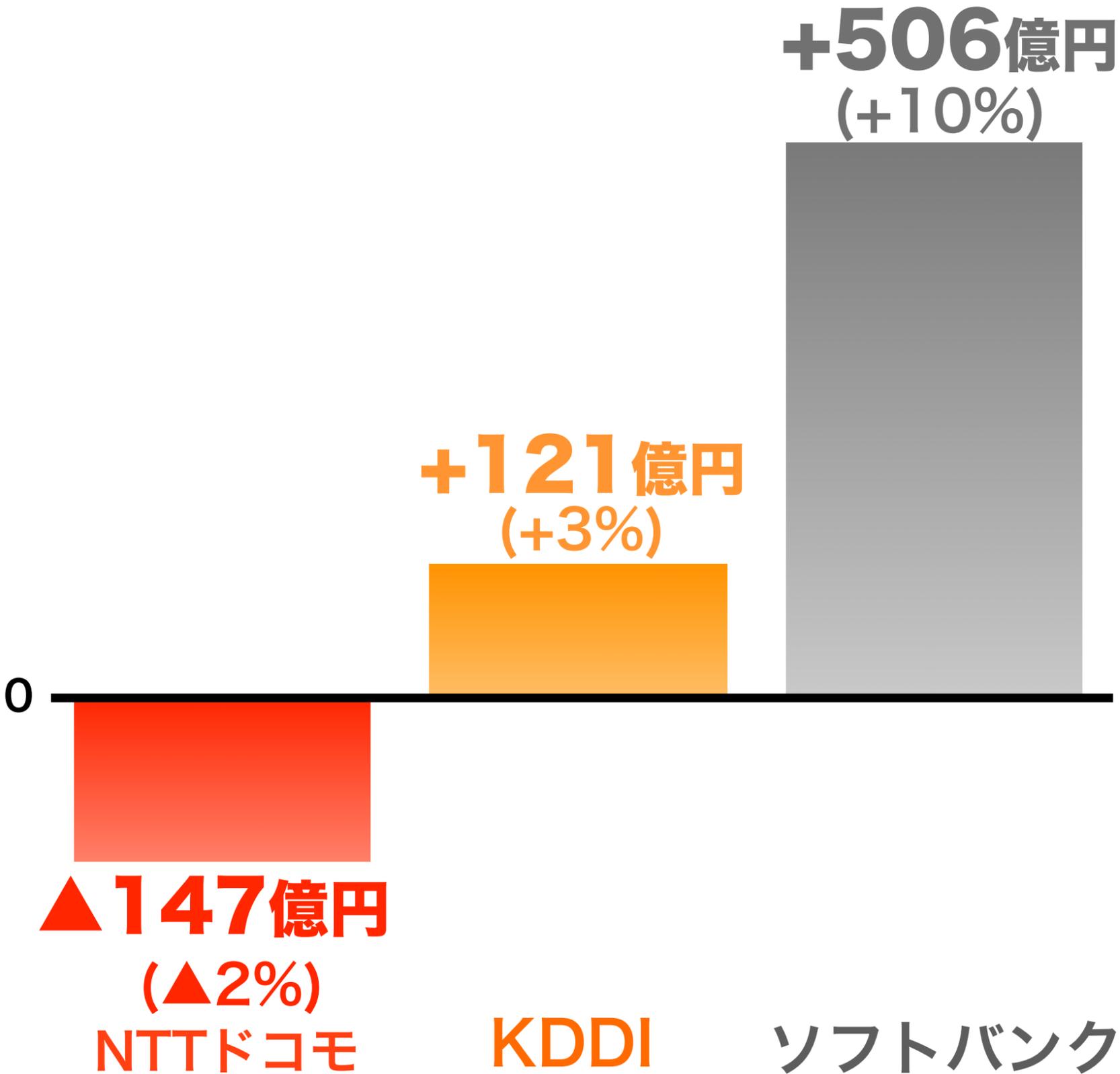
5,327 ソフトバンク

3,842

※各社の開示資料を基に当社作成

連結営業利益 前期比増減 (2011年4~12月期)

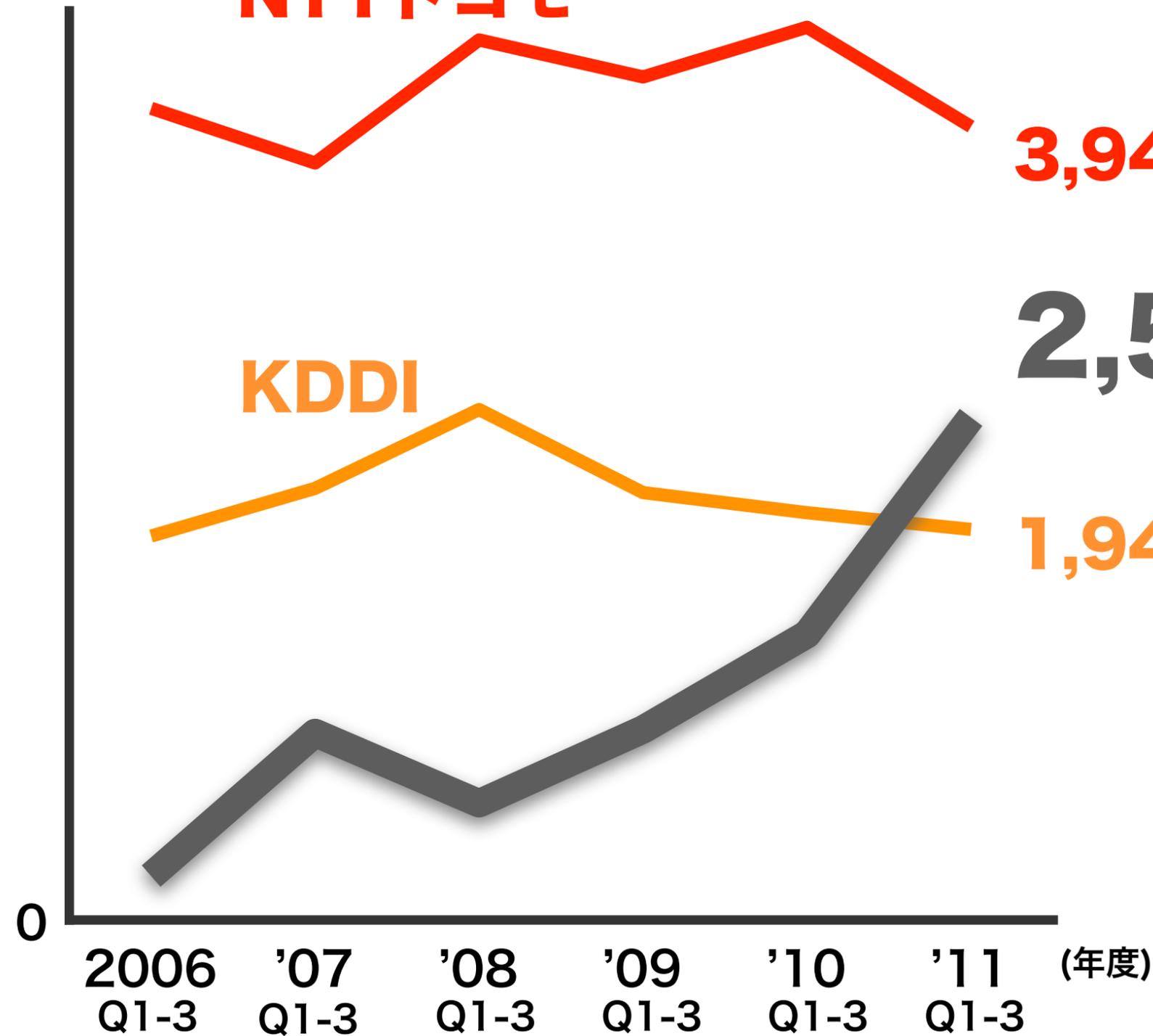
唯一の 2桁増益



※各社の開示資料を基に当社作成

連結当期純利益

(億円)



3,946

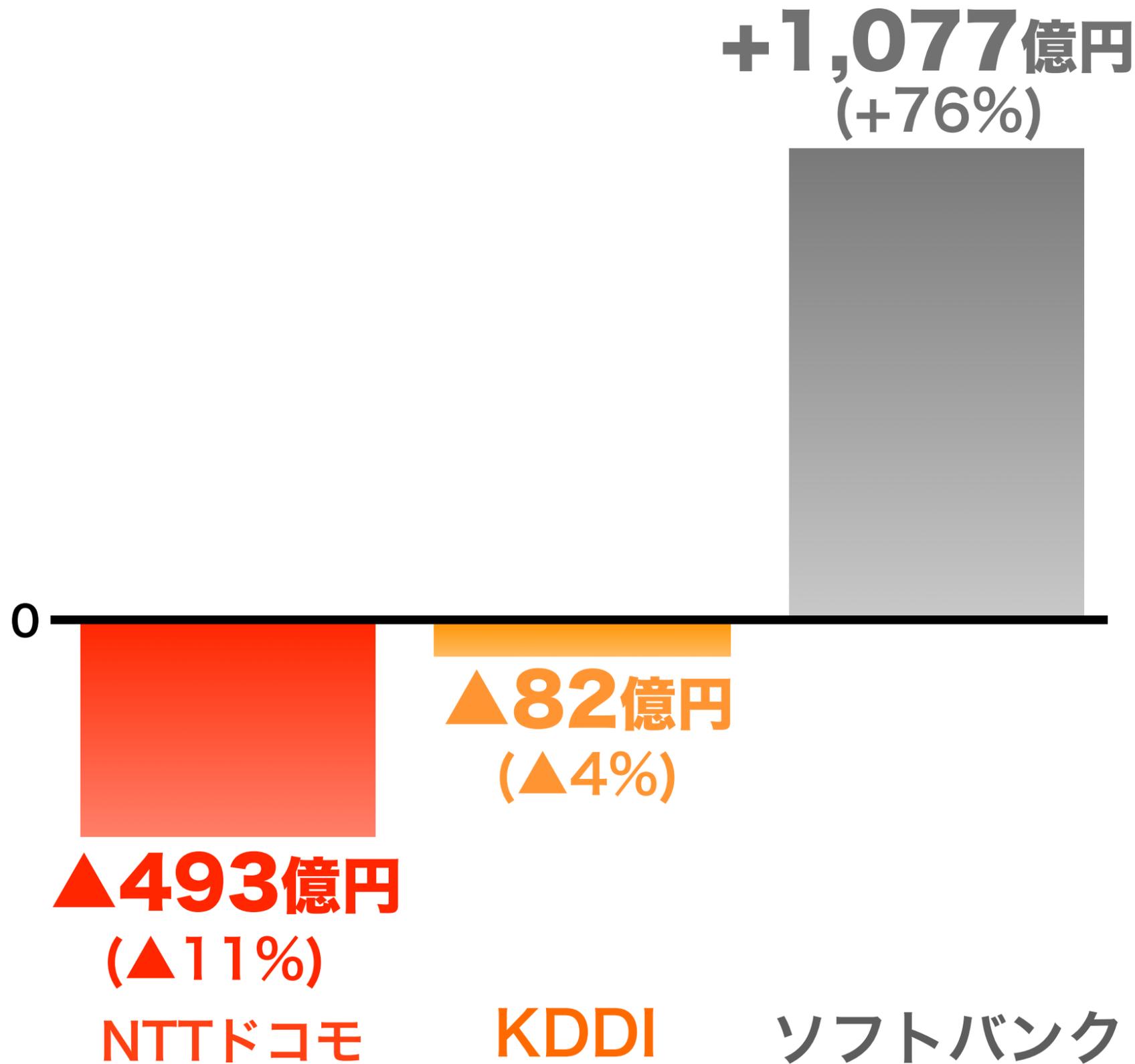
2,500 ソフトバンク

1,943

※各社の開示資料を基に当社作成

連結当期純利益 前期比増減 (2011年4~12月期)

唯一の増益



※各社の開示資料を基に当社作成

(億円)

5,259

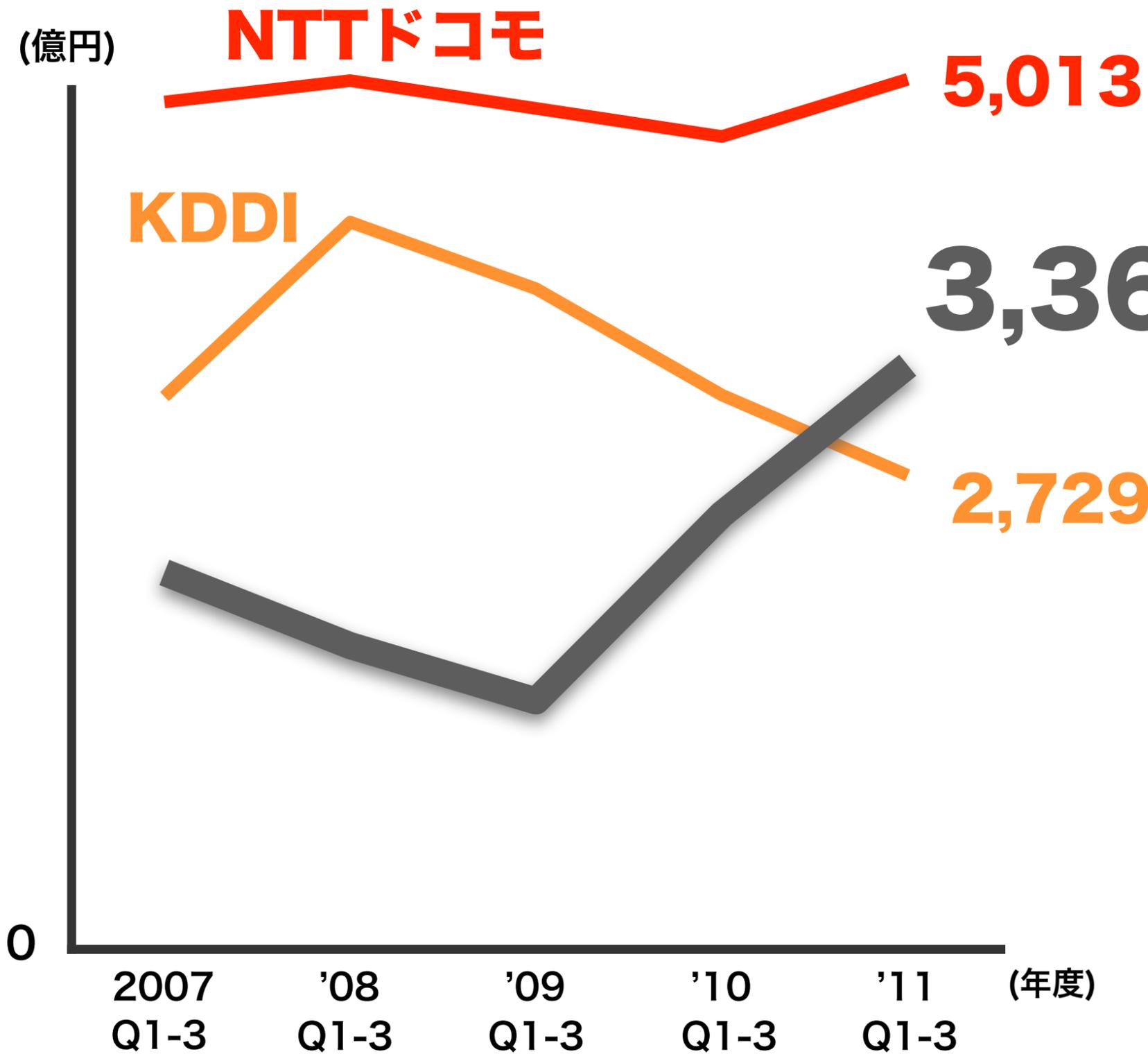
5,074

**連結
営業キャッシュフロー**

順調に推移



連結設備投資額



KDDIを逆転

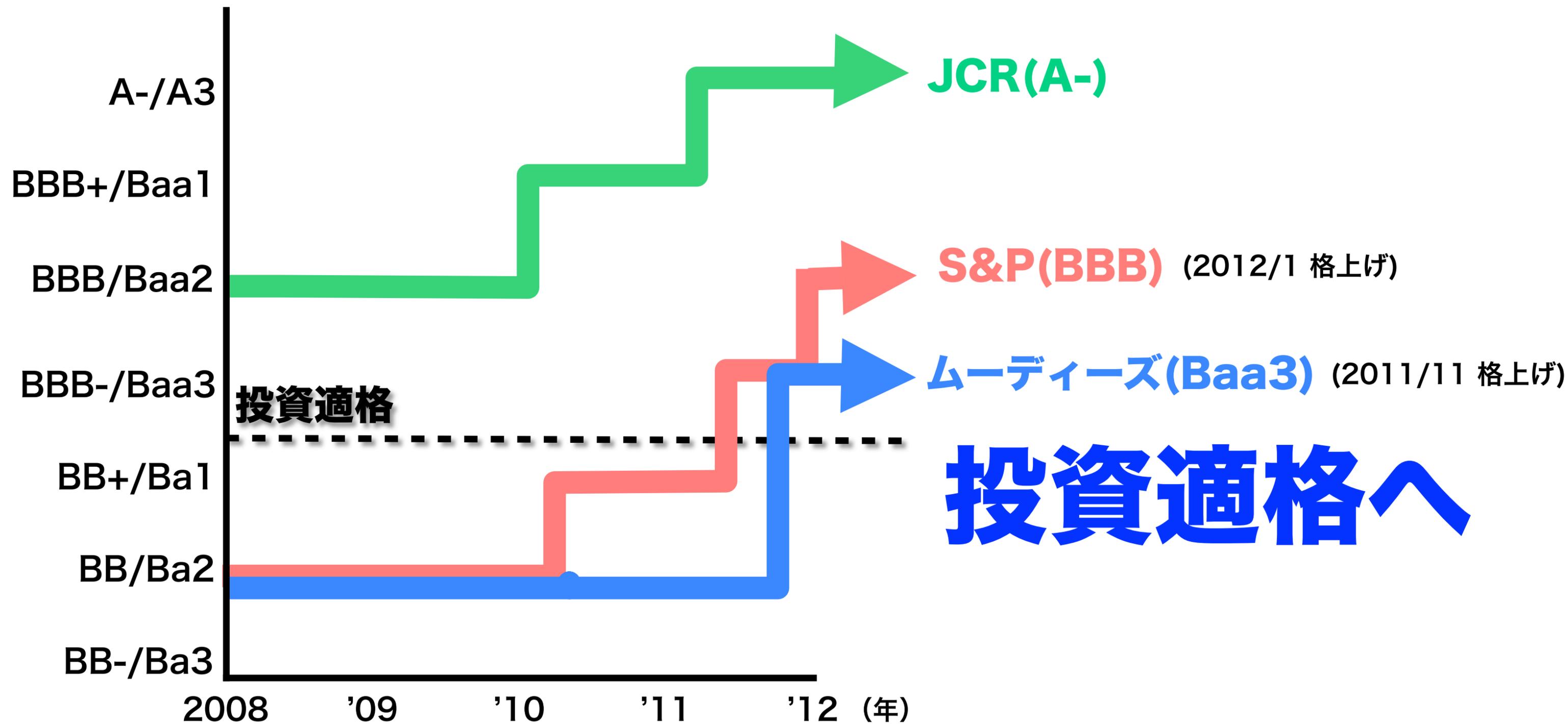
※各社の開示資料を基に当社作成

キャッシュフローの状況

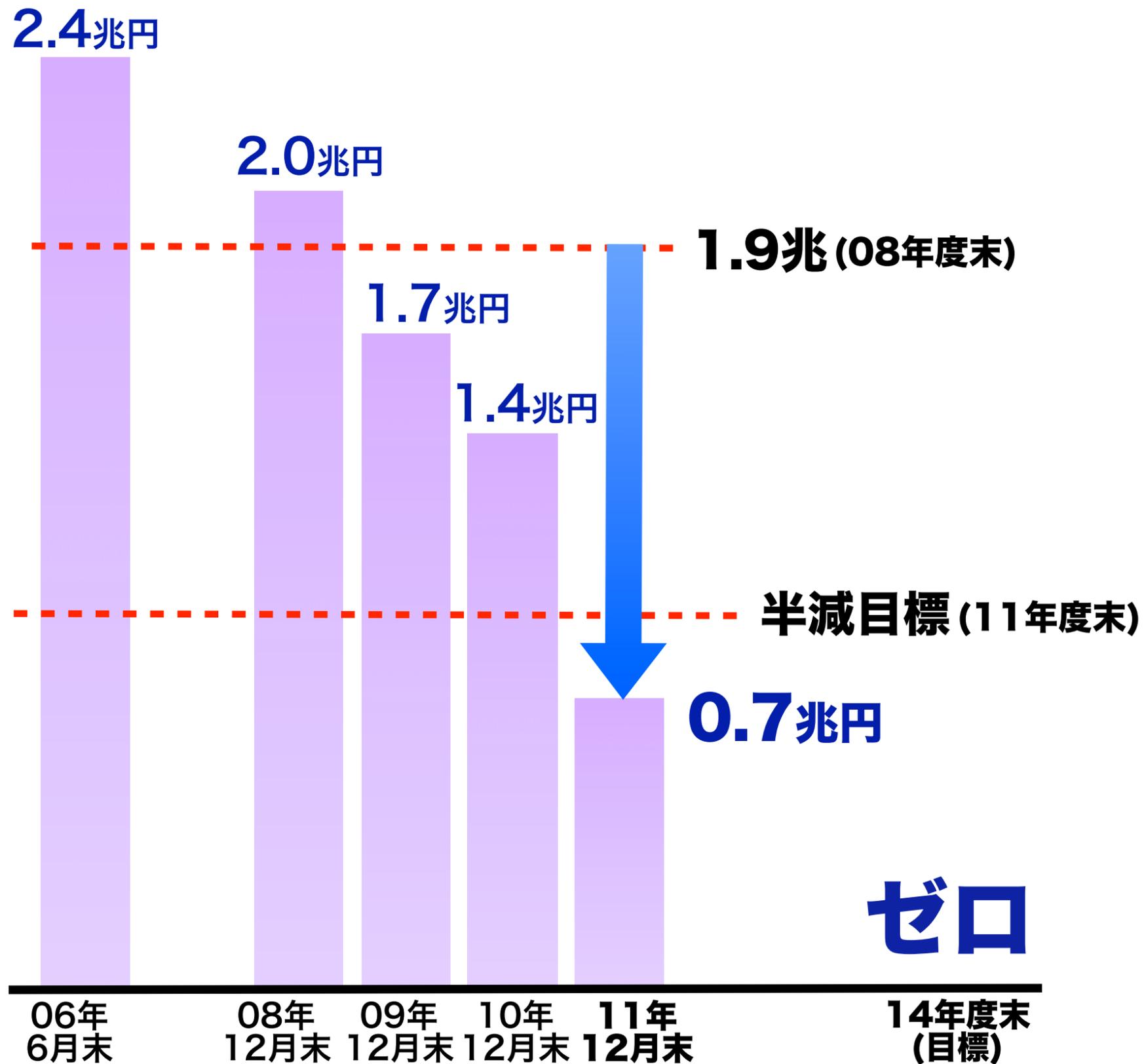
(億円)

	10年度Q1-3 (10年4~12月)	11年度Q1-3 (11年4~12月)	増減
営業キャッシュフロー	5,259	5,074	▲184
フリーキャッシュフロー	3,642	2,367	▲1,275
① 設備投資支払	▲1,490	▲3,576	▲2,085
② 割賦売掛金の減少額 (フリーキャッシュフローの増加要因)	+1,570	+262	▲1,308
③ Yahoo! Inc. 株売却	—	+571	+571

ソフトバンクの格付け



投資適格へ



コミットメント① 純有利子負債削減

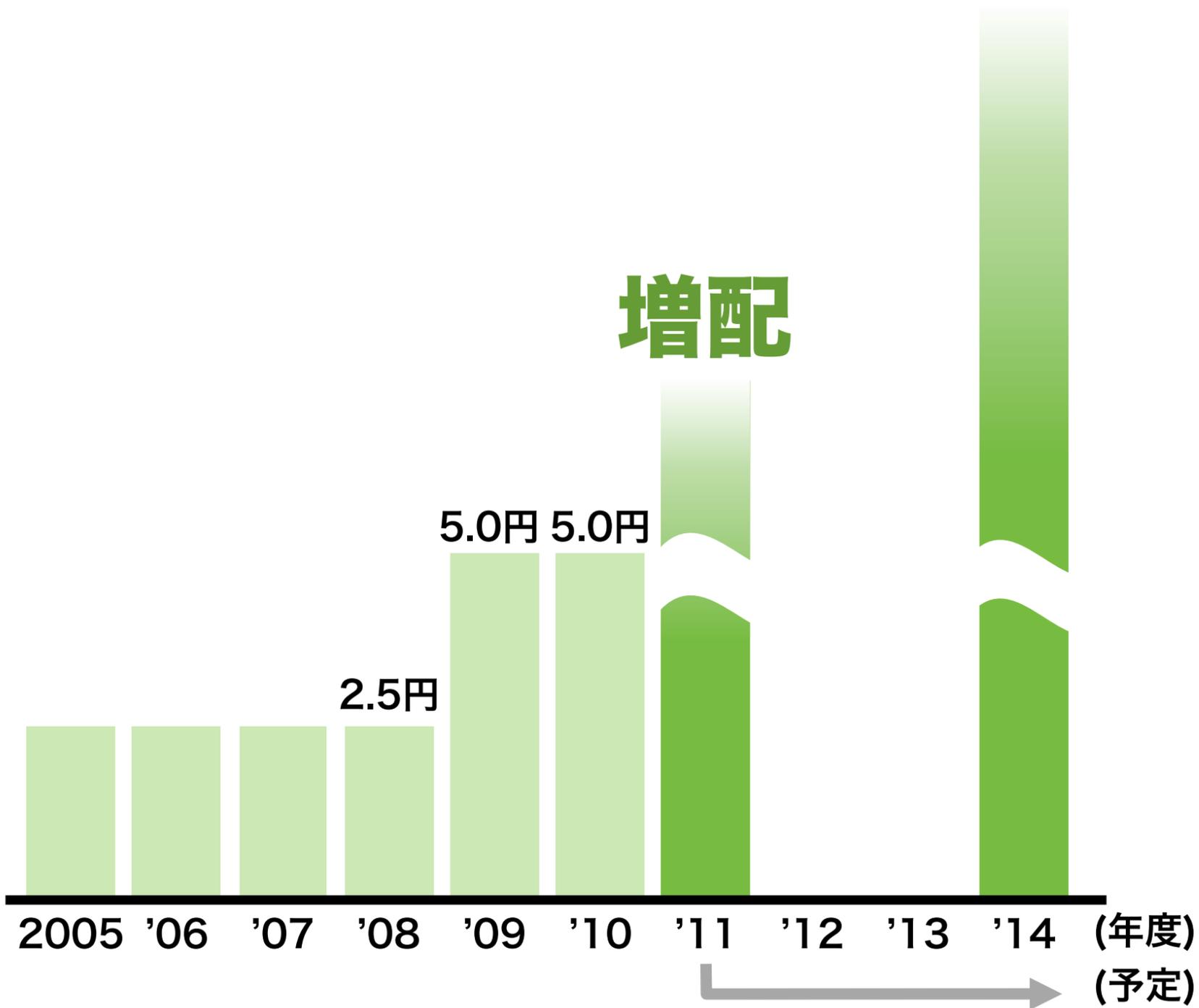
目標に変更なし

コミットメント② 1株当たり配当金

増配へ

増配

増配



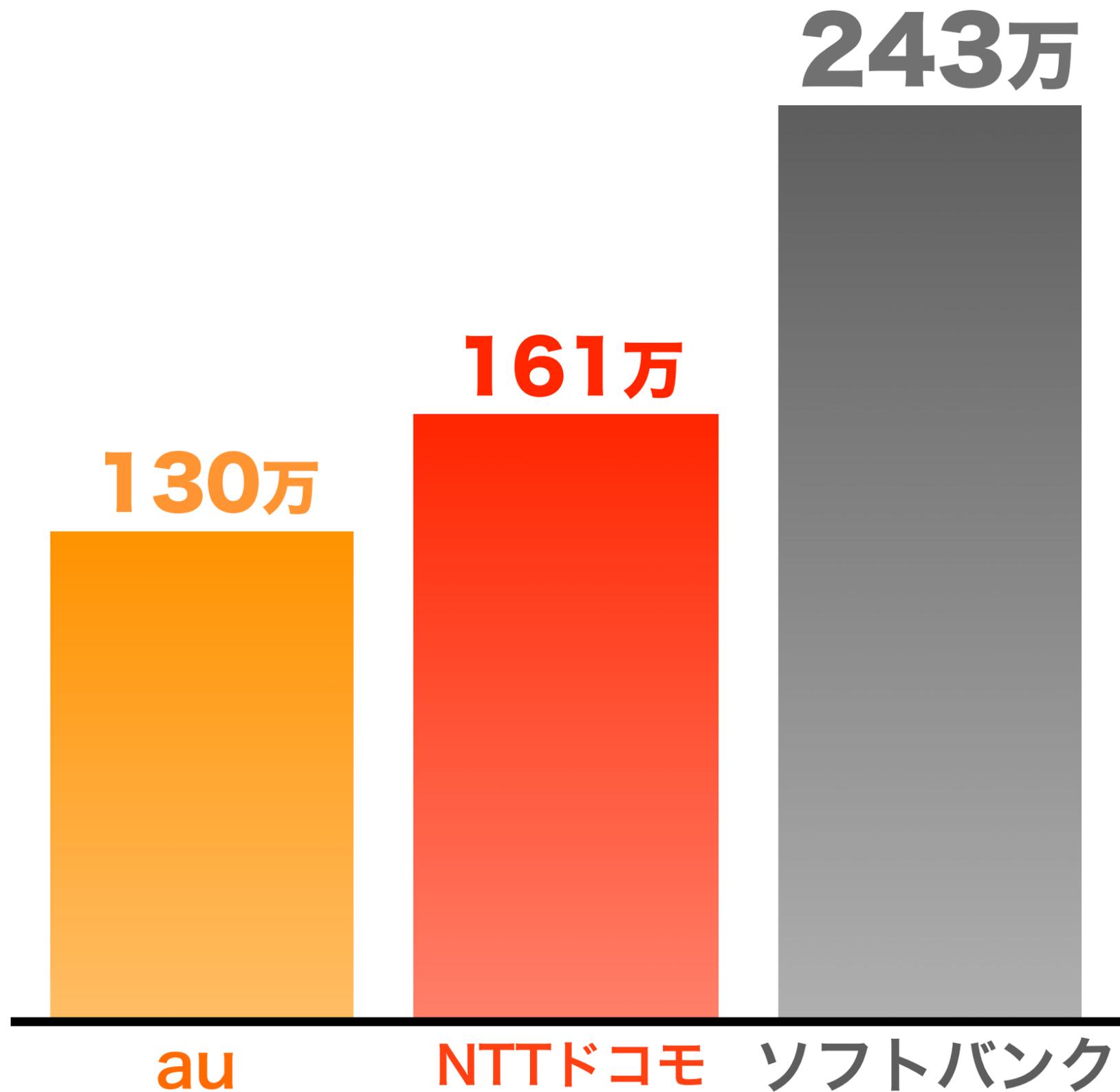
※2011年度以降の金額は未定

移動体通信事業

純増契約数

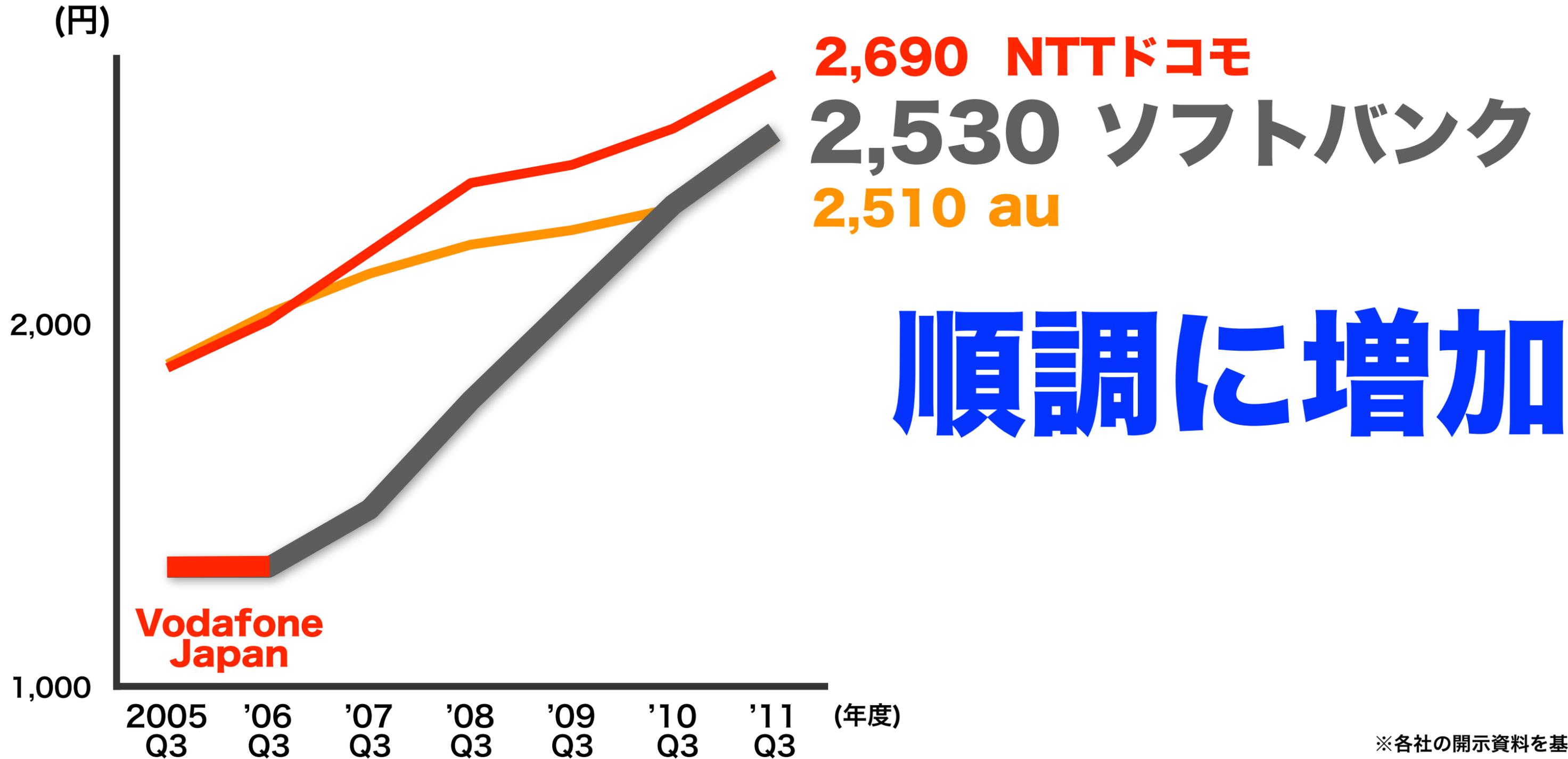
(2011年4~12月累計)

5年連続No.1



※各社の開示資料を基に当社作成

データARPU



※各社の開示資料を基に当社作成

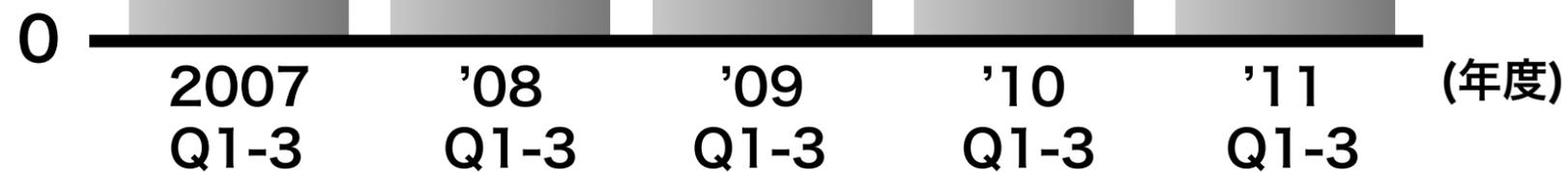
(億円)

10,801

9,564

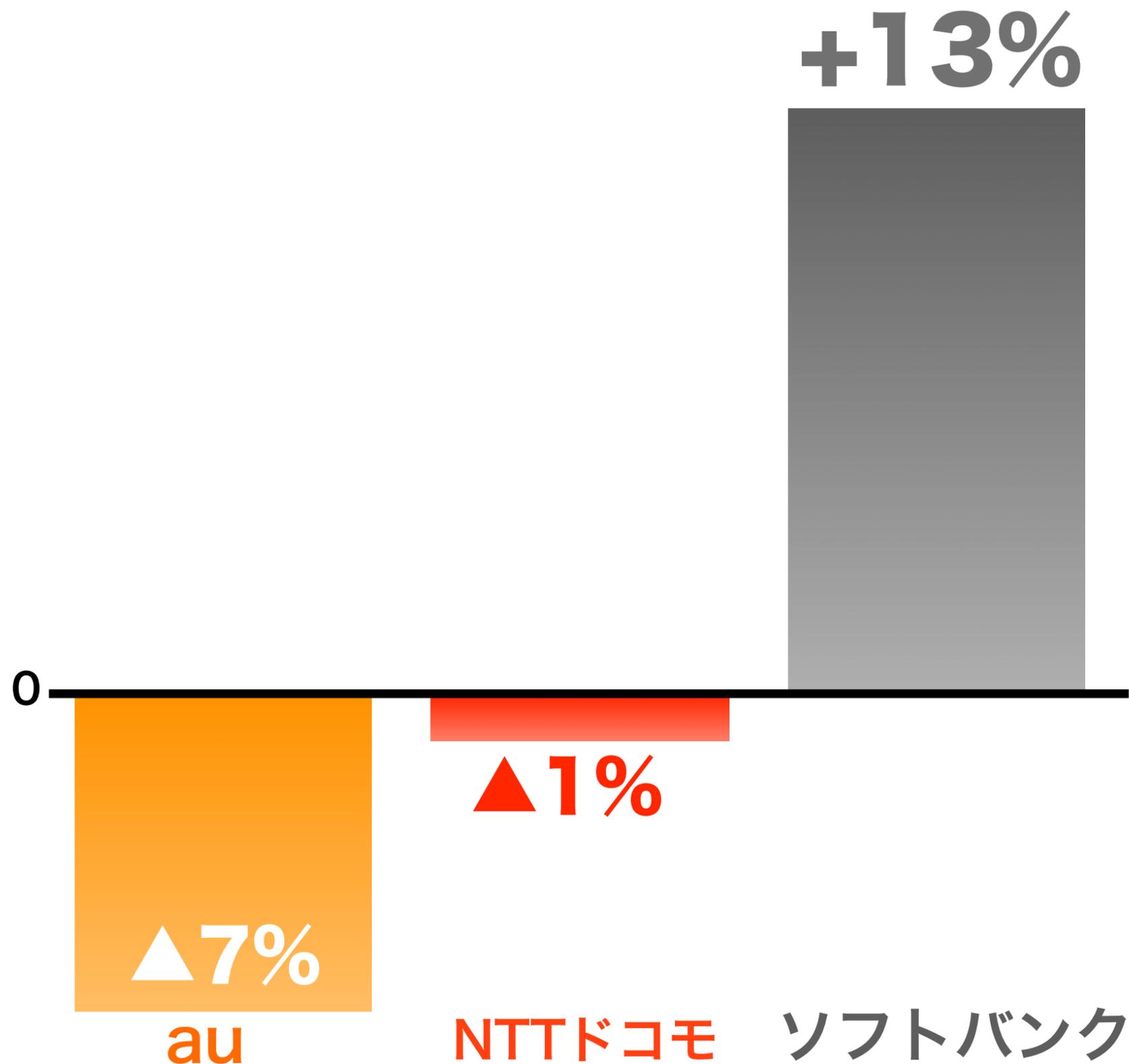
移動体通信事業 通信料売上

過去最高
13%増収



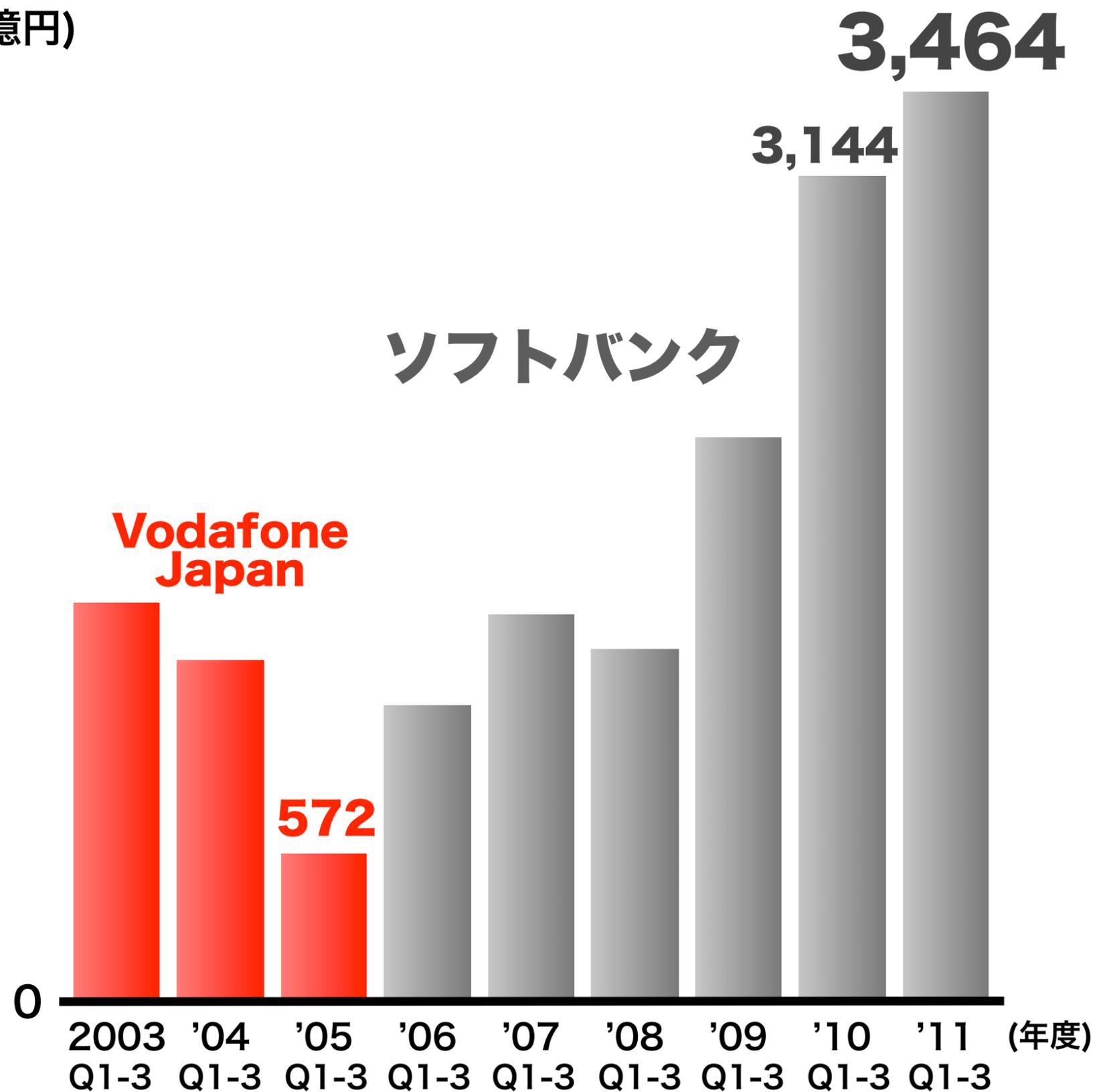
移動体通信事業 通信料売上増減率 (2011年4~12月期)

唯一の増収



※各社の開示資料を基に当社作成

(億円)



移動体通信事業 営業利益

**3期連続最高益
10%増益**

※2003～2005年度はボーダフォン日本法人の社内資料を基に当社作成

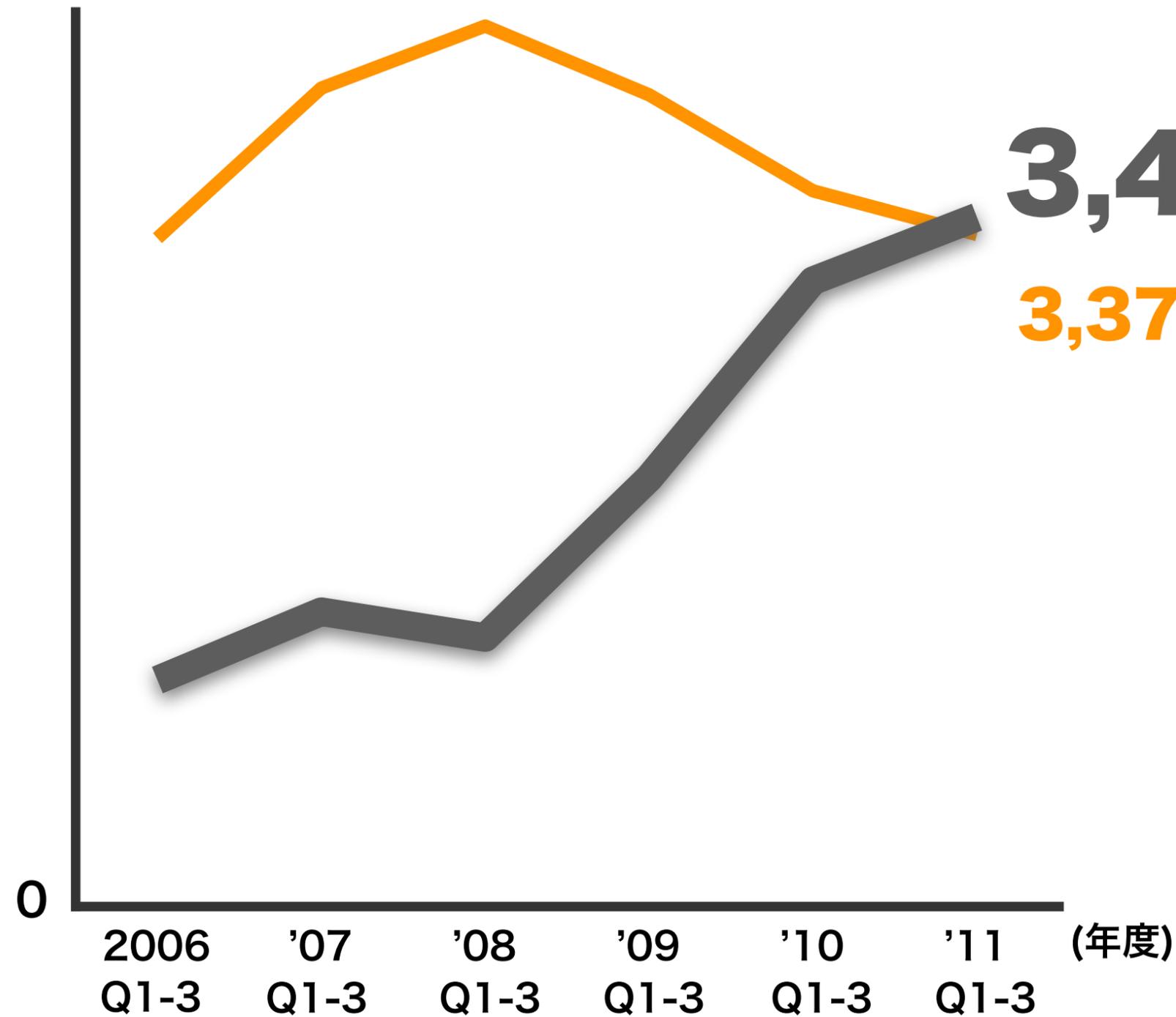
移動体通信事業 営業利益

3,464 ソフトバンク

3,376 au

逆転

(億円)



※各社の開示資料を基に当社作成

ソフトバンクの 国内順位？

連結業績 他社比較

(2011年度Q1~3累計)

	1位 NTTドコモ	2位 ソフトバンク	3位 KDDI
営業利益	7,437億円	5,327億円	3,842億円
当期純利益	3,946億円	2,500億円	1,943億円
設備投資額	5,013億円	3,364億円	2,729億円

国内第2位の利益水準

※各社の開示資料を基に当社作成

2016年度目標

2016年度目標

連結営業利益

1兆円

営業利益1兆円へ向けた戦略

1. 顧客基盤の強化

2. ネットワーク増強

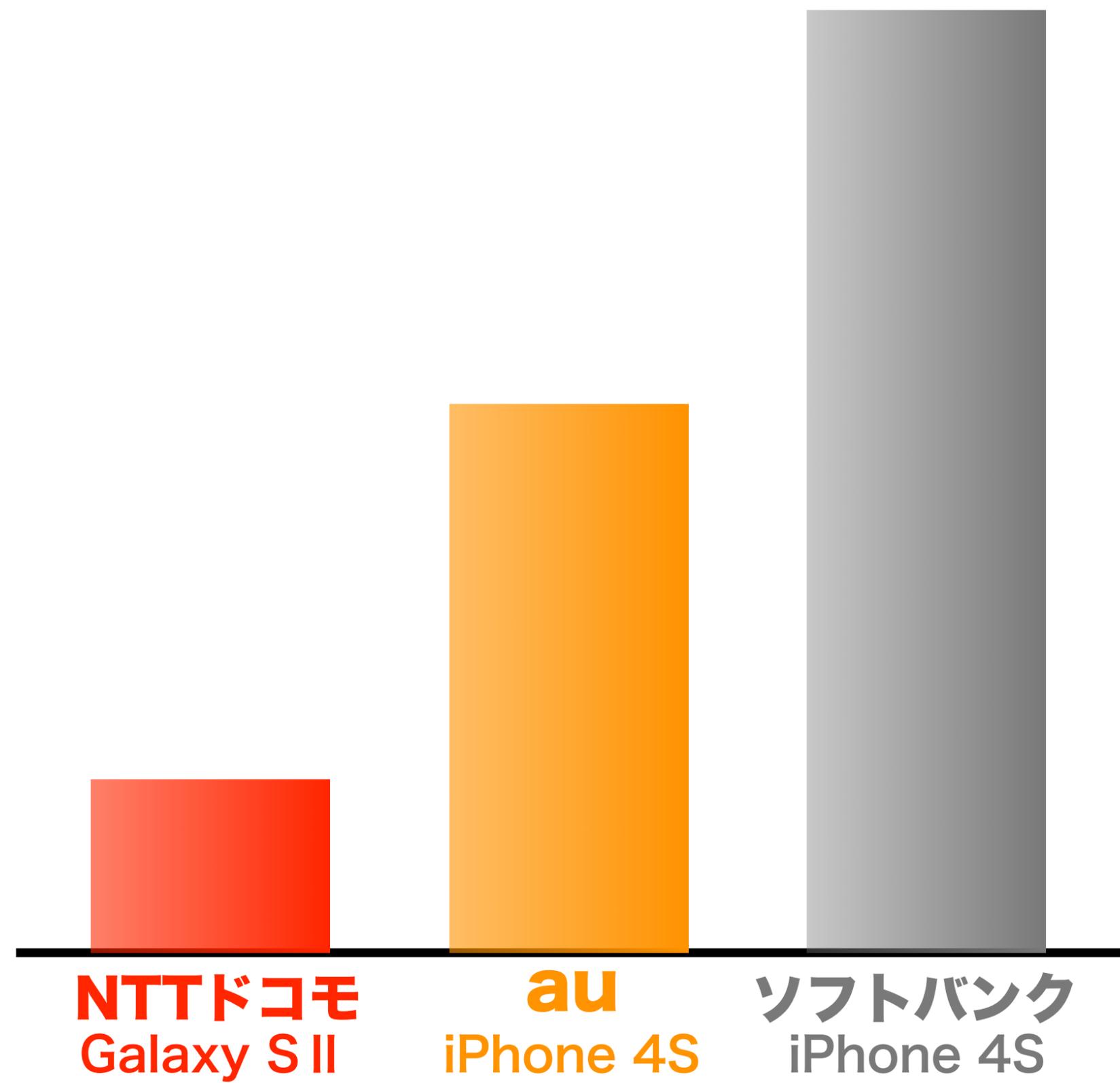
営業利益1兆円へ向けた戦略

1. 顧客基盤の強化

2. ネットワーク増強

家電量販店における 主要スマートフォン 総販売台数

(2011年10~12月)



※外部調査会社による主要量販店での販売台数調査

iPhoneユーザーの MNP転出

(2011年10~12月)

高い満足度



94万

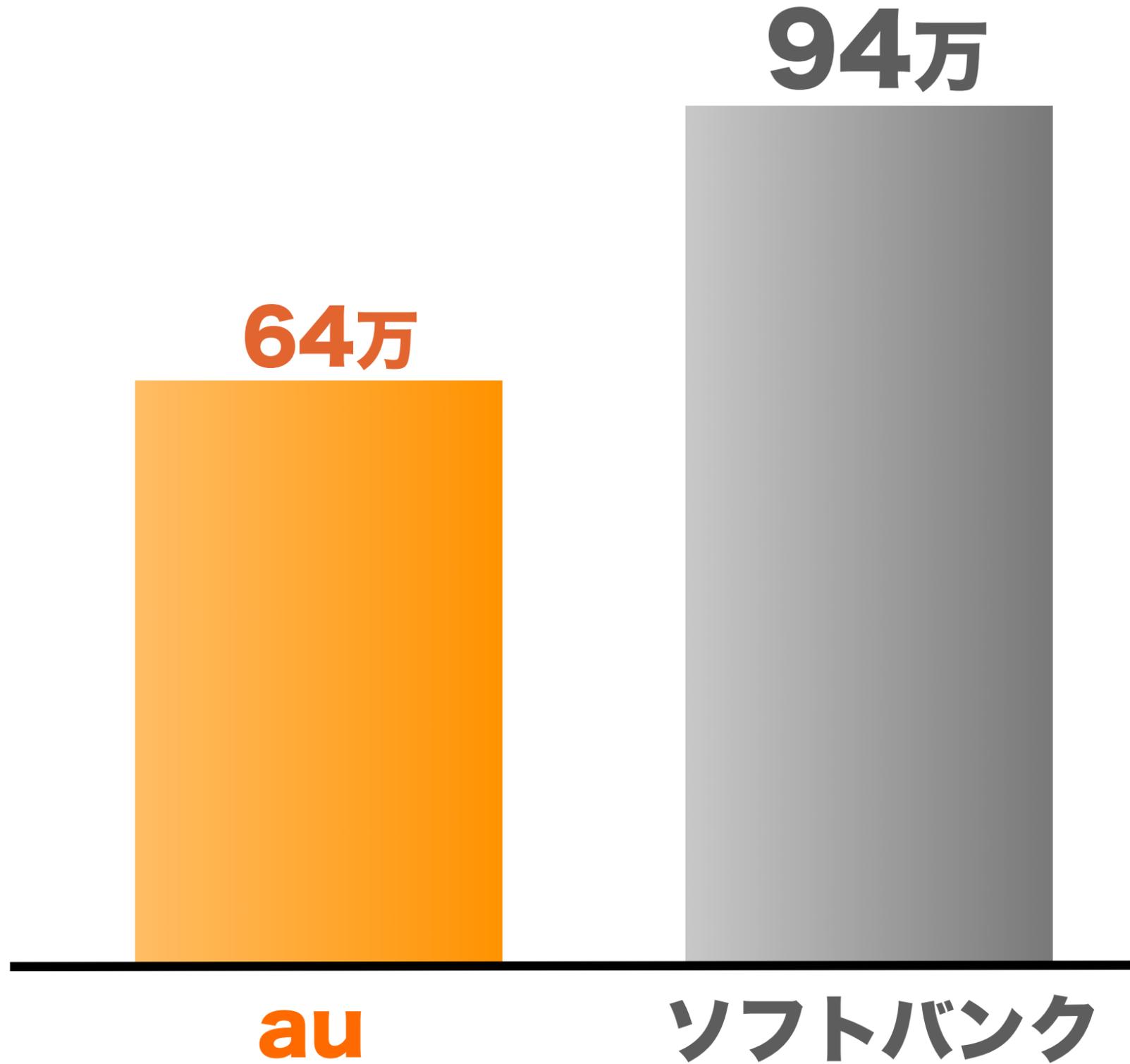
MNP
▲5万

iPhoneユーザーの
MNP転出

全機種
純増契約数

純増契約数 (2011年10~12月)

auの
1.5倍



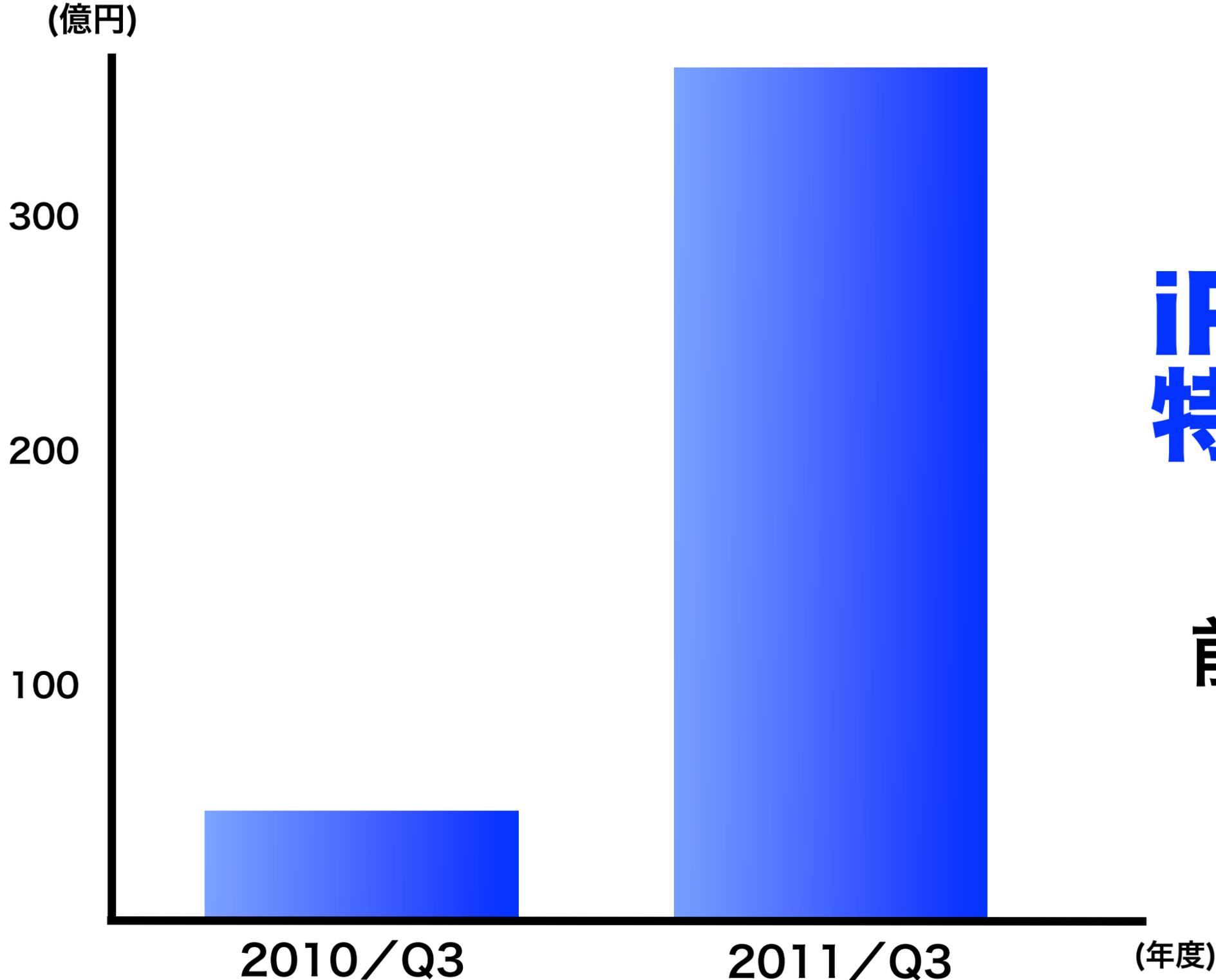
※ 各社の開示資料を基に当社作成

機種変更費用

iPhone機種変更
特別キャンペーン

損益への影響

前期比 ▲約300億円



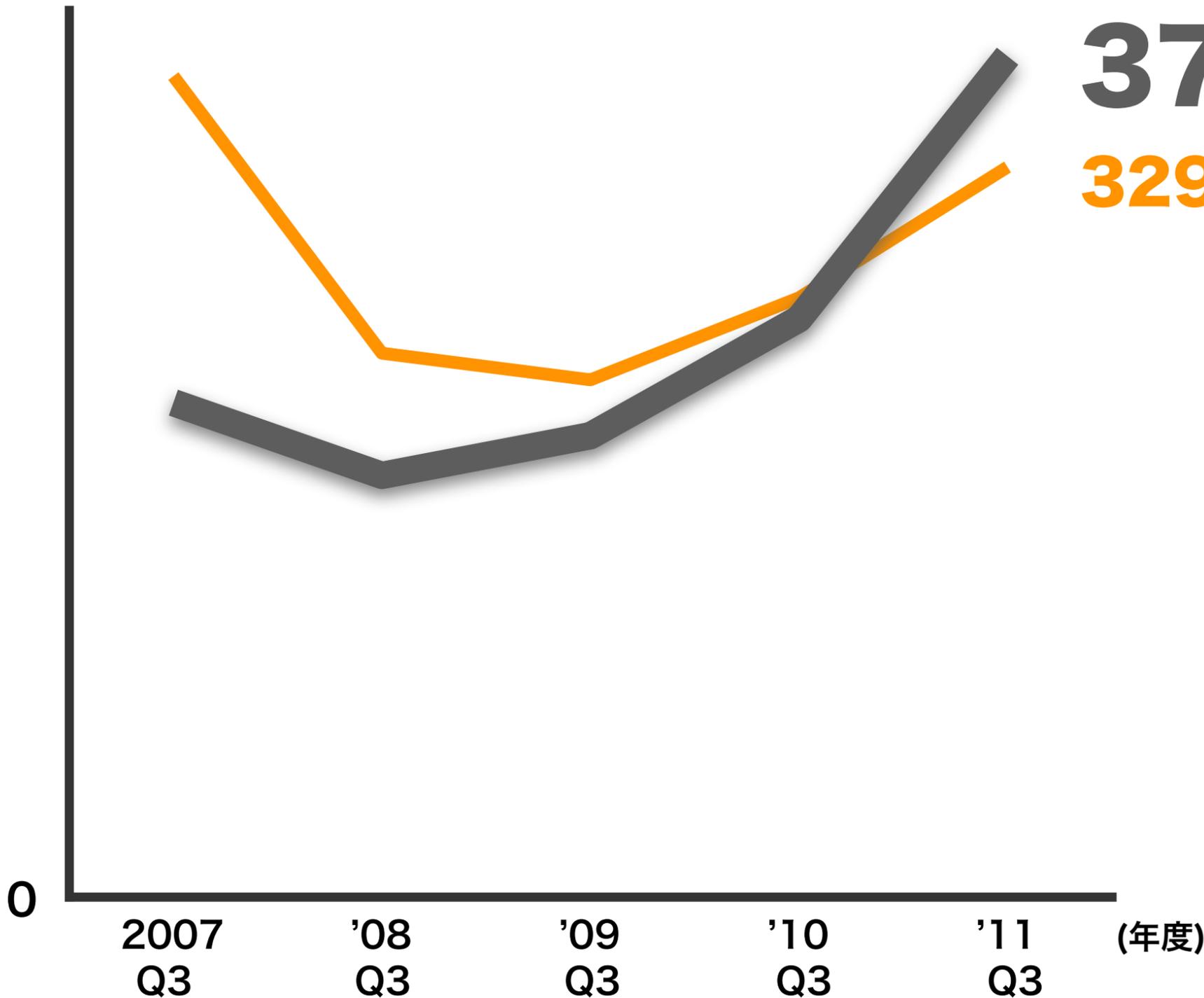
総販売台数 (新規+機種変更)

(万台)

379万 ソフトバンク

329万 au

初の逆転



※ 各社の開示資料を基に当社作成

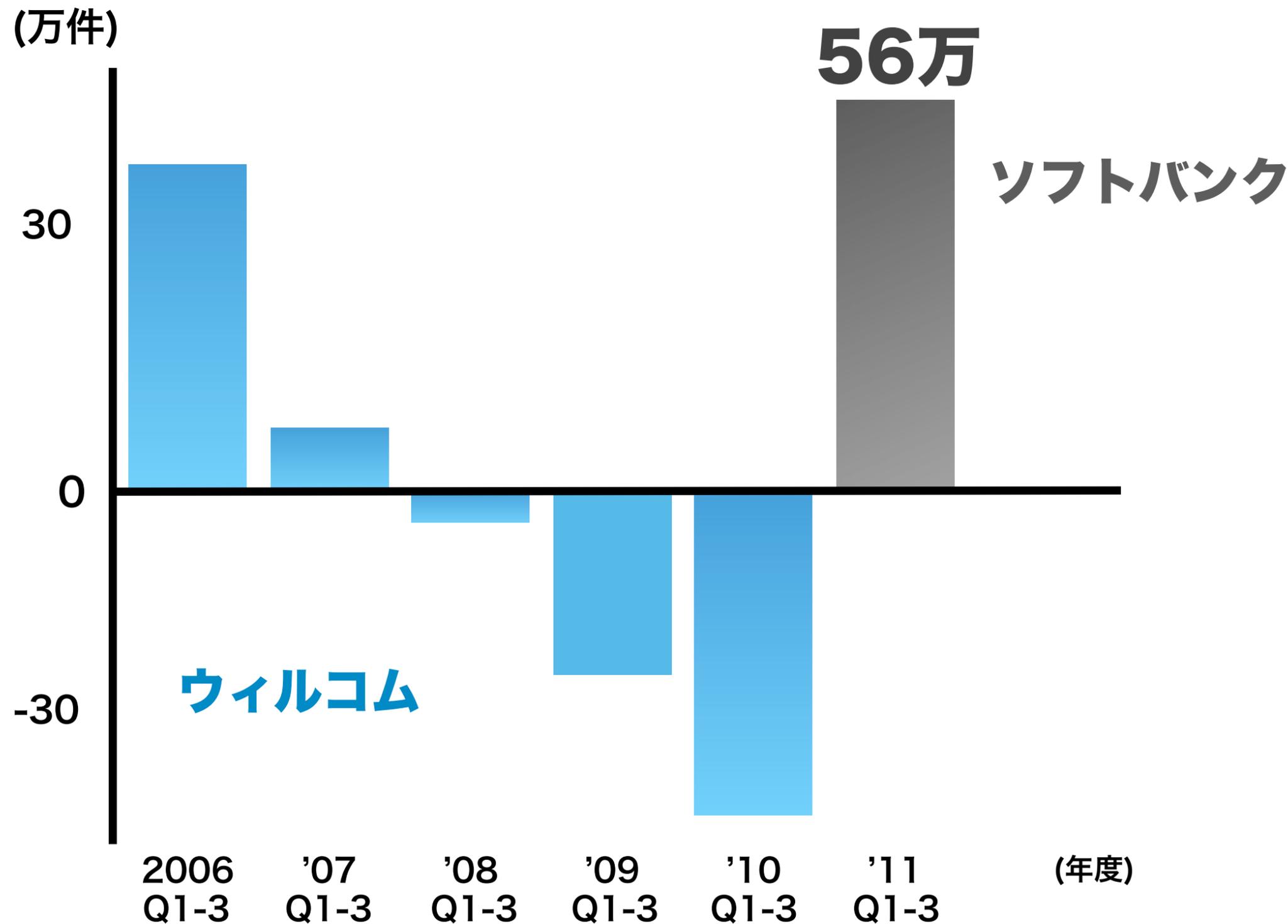


顧客基盤をさらに拡大



ウィルコム

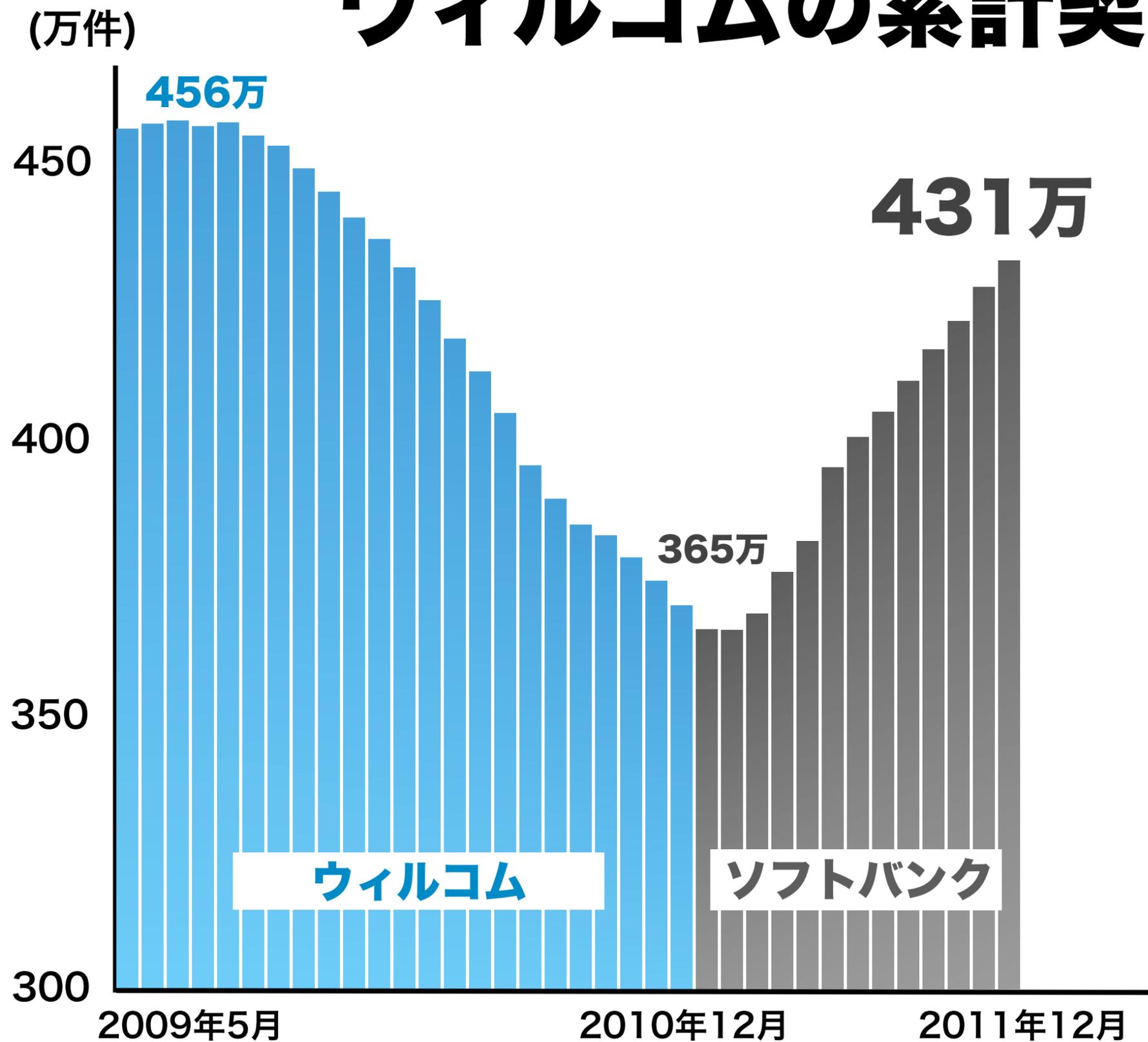
ウィルコム純増契約数 (PHS)



6年ぶりの
50万件超



ウィルコム of 累計契約数 (PHS)



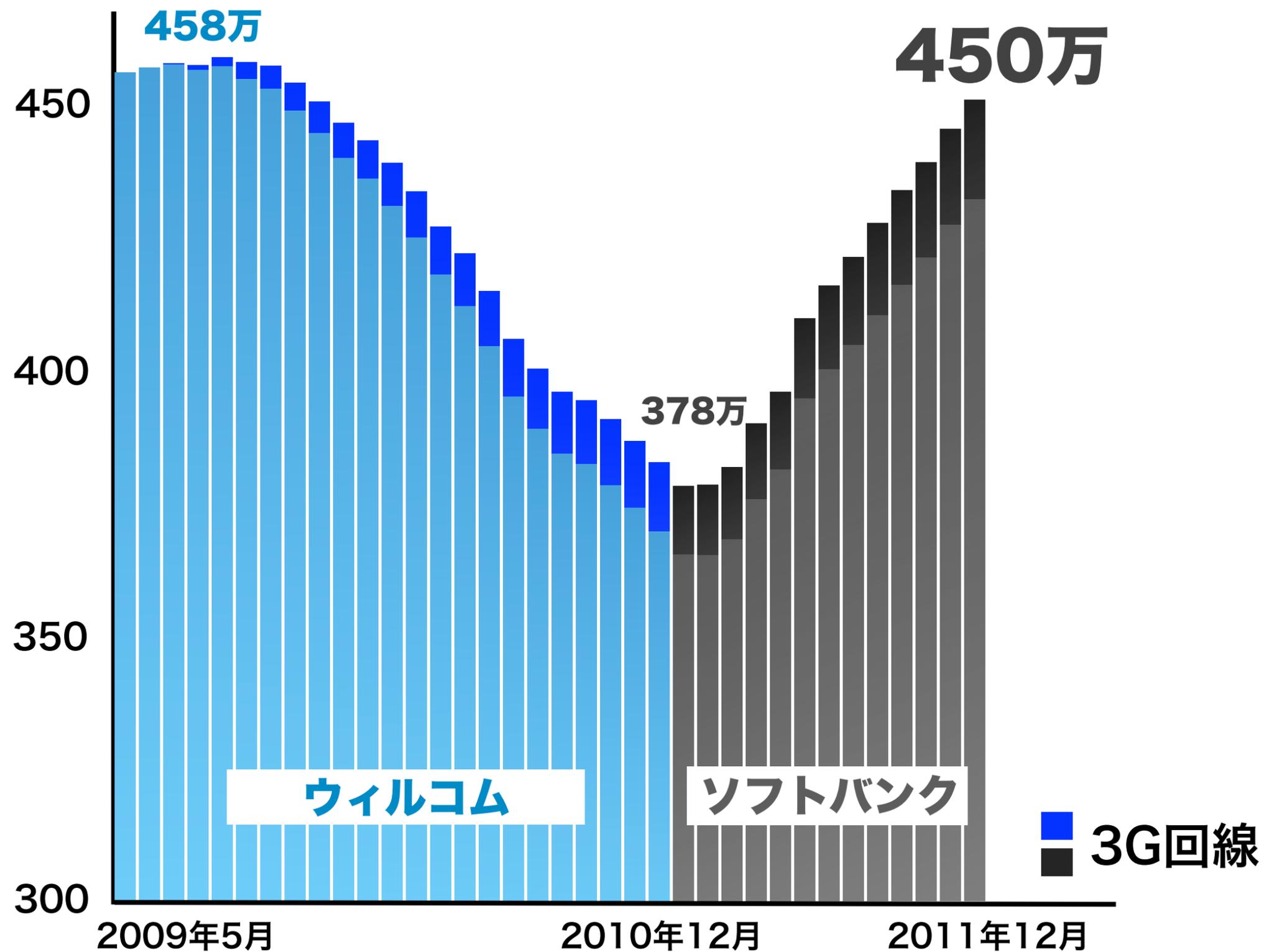
V字回復



ウィルコムが累計契約数 (PHS+3G)



(万件)



V字回復



(万回線)

3,215万

累計契約数

買収後2倍超

ウィルコム
(PHS)

1,522万

Vodafone
Japan

ソフトバンク

2006年4月

2011年12月

3,000

2,000

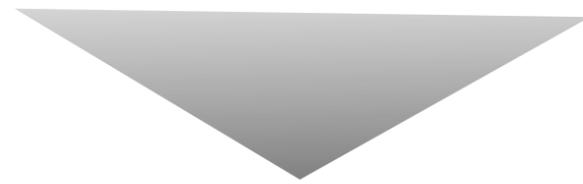
1,000

営業利益1兆円へ向けた戦略

1. 顧客基盤の強化

2. ネットワーク増強

接続率 × 速度



ネットワーク満足度

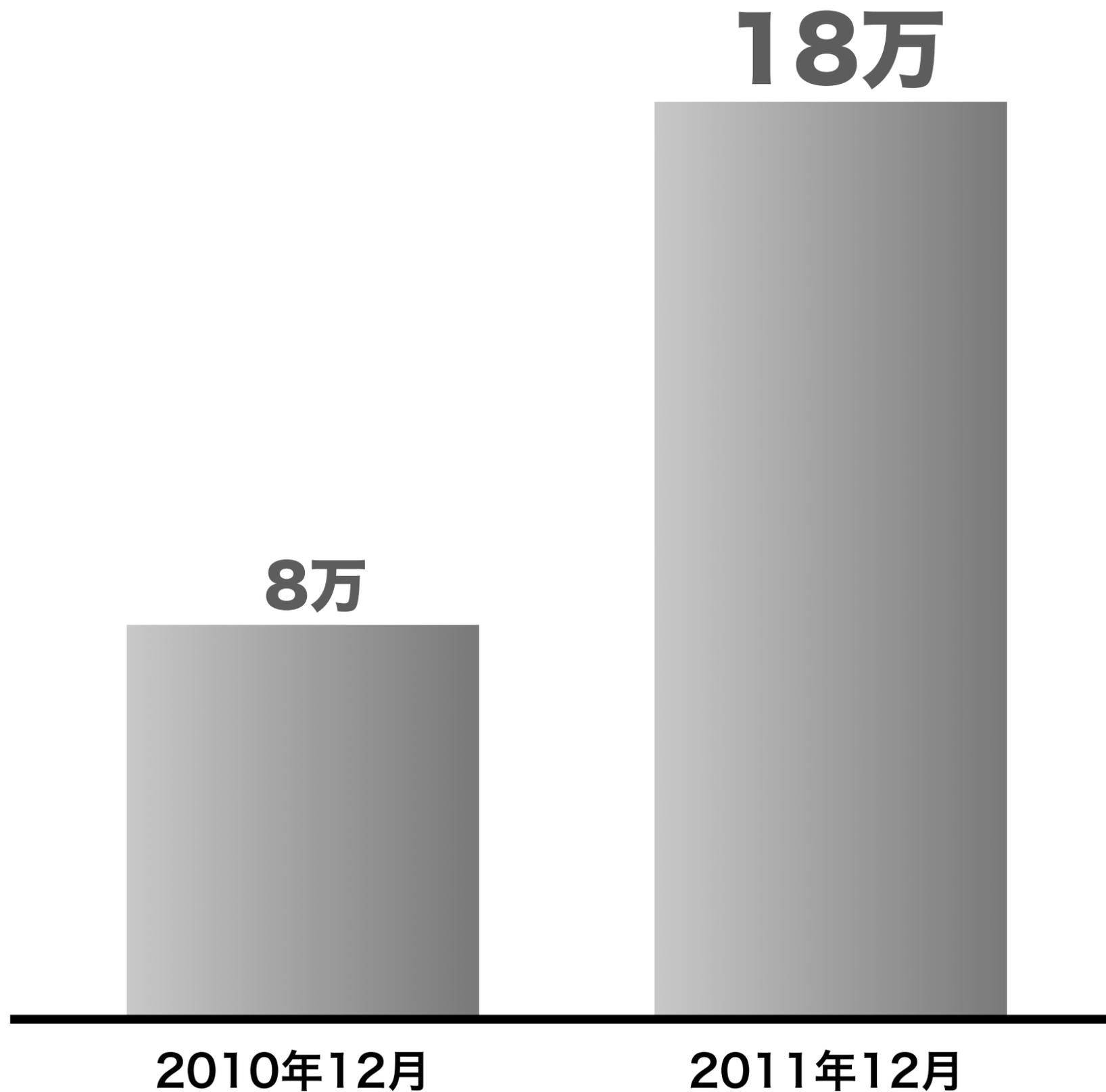
接続率 × 速度



ネットワーク満足度

基地局数

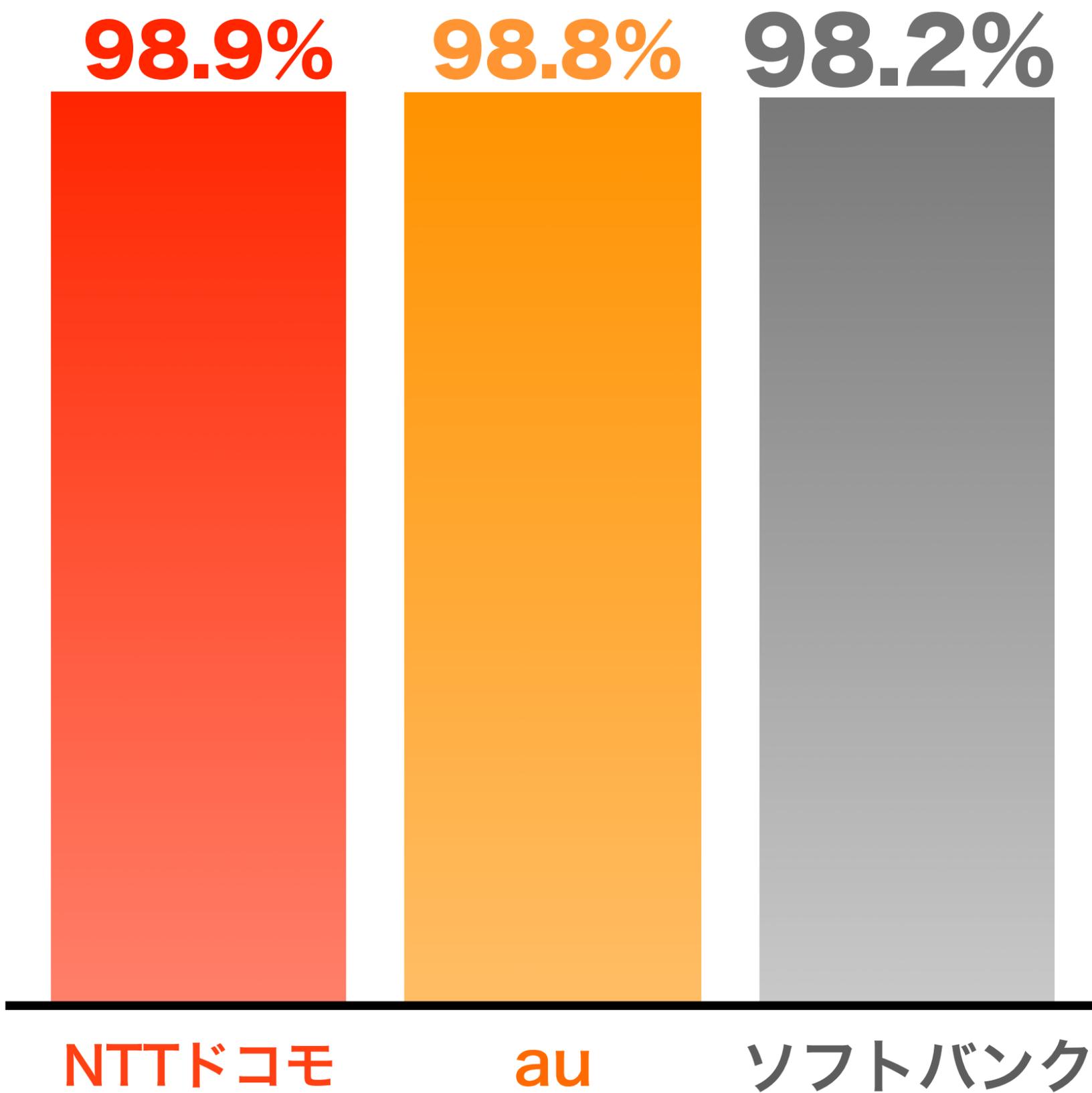
1年で2.3倍



※ ホームフェムト、ホームリピーターを除く

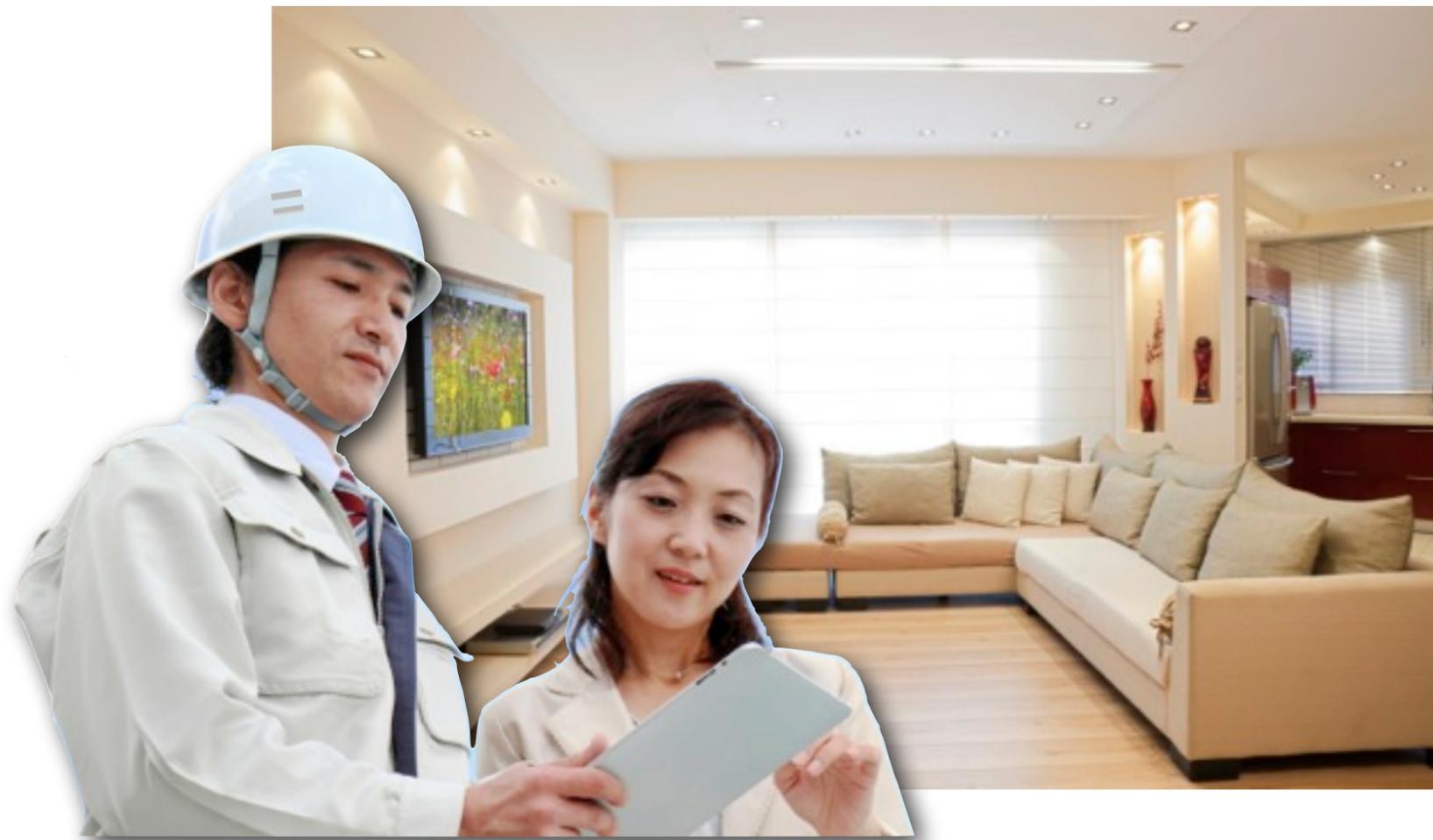
総合接続率

他社同等に 改善



※外部調査会社調べ(2012年1月現在)
各キャリアのテストモニターへ実施(約150,000件/月)

電波改善訪問調査 「フェムトセル設置サービス」 (2012年1月より全国展開)



宅内電波を 改善



Wi-Fiスポットアクセスポイント数

ソフトバンク



200,000
(12年1月31日)

au

約**60,000**

NTTドコモ

約**7,700**

**Wi-Fi
No.1**

接続率 × 速度



ネットワーク満足度

次世代高速通信 SoftBank 4G

ULTRA WiFi 4G

業界最速

下り最大76Mbps

2月発売予定



高速通信サービス 速度比較 (屋外)

ULTRA
WiFi 4G

76Mbps

UQ WiMAX

40Mbps

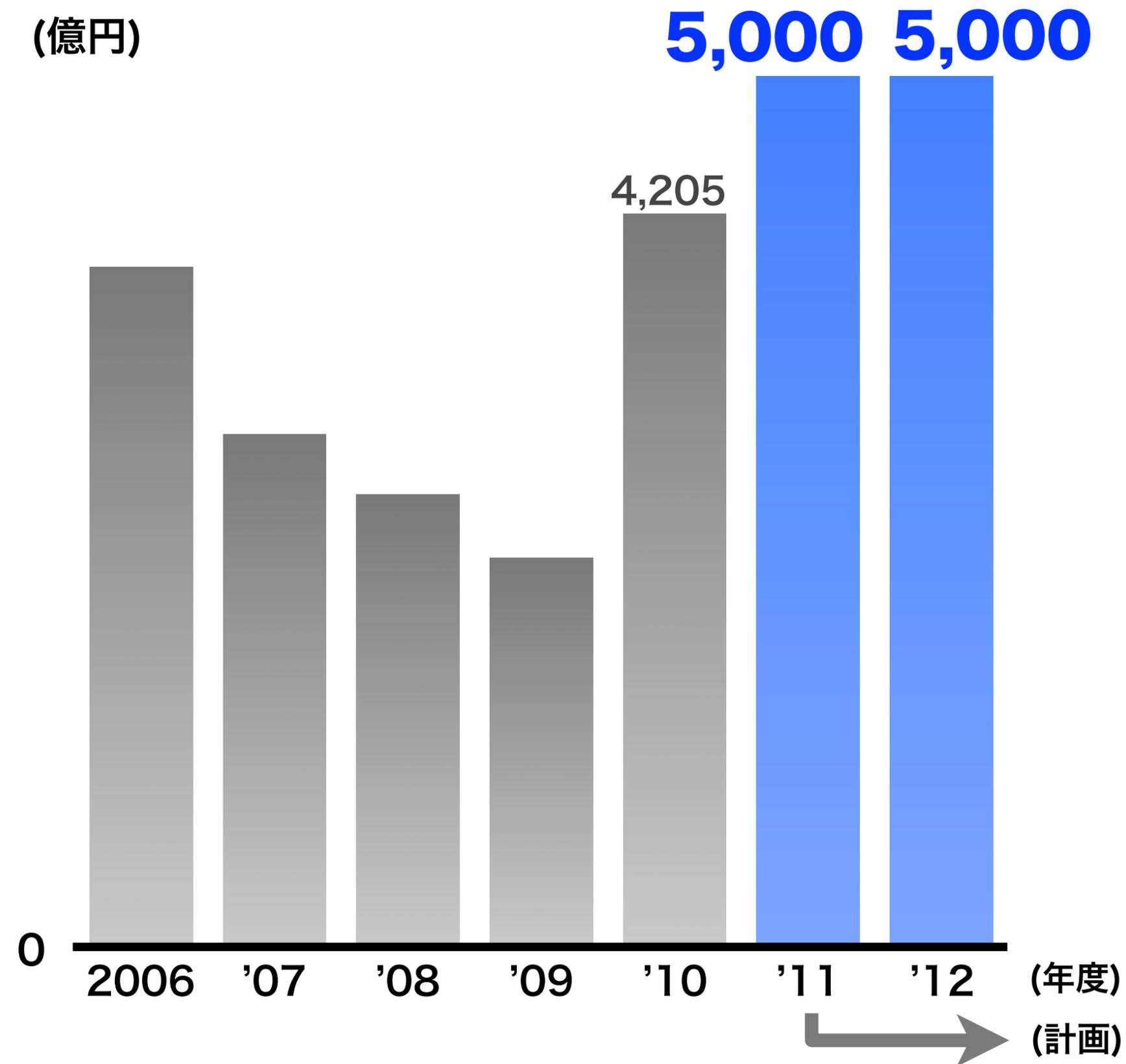
業界最速

NTTドコモ Xi

37.5Mbps

※ 当社調べ(下り最大速度)

(億円)



連結設備投資額

2年で
1兆円

900MHz帶 申請濟

- 1. 顧客基盤の強化**
- 2. ネットワーク増強**

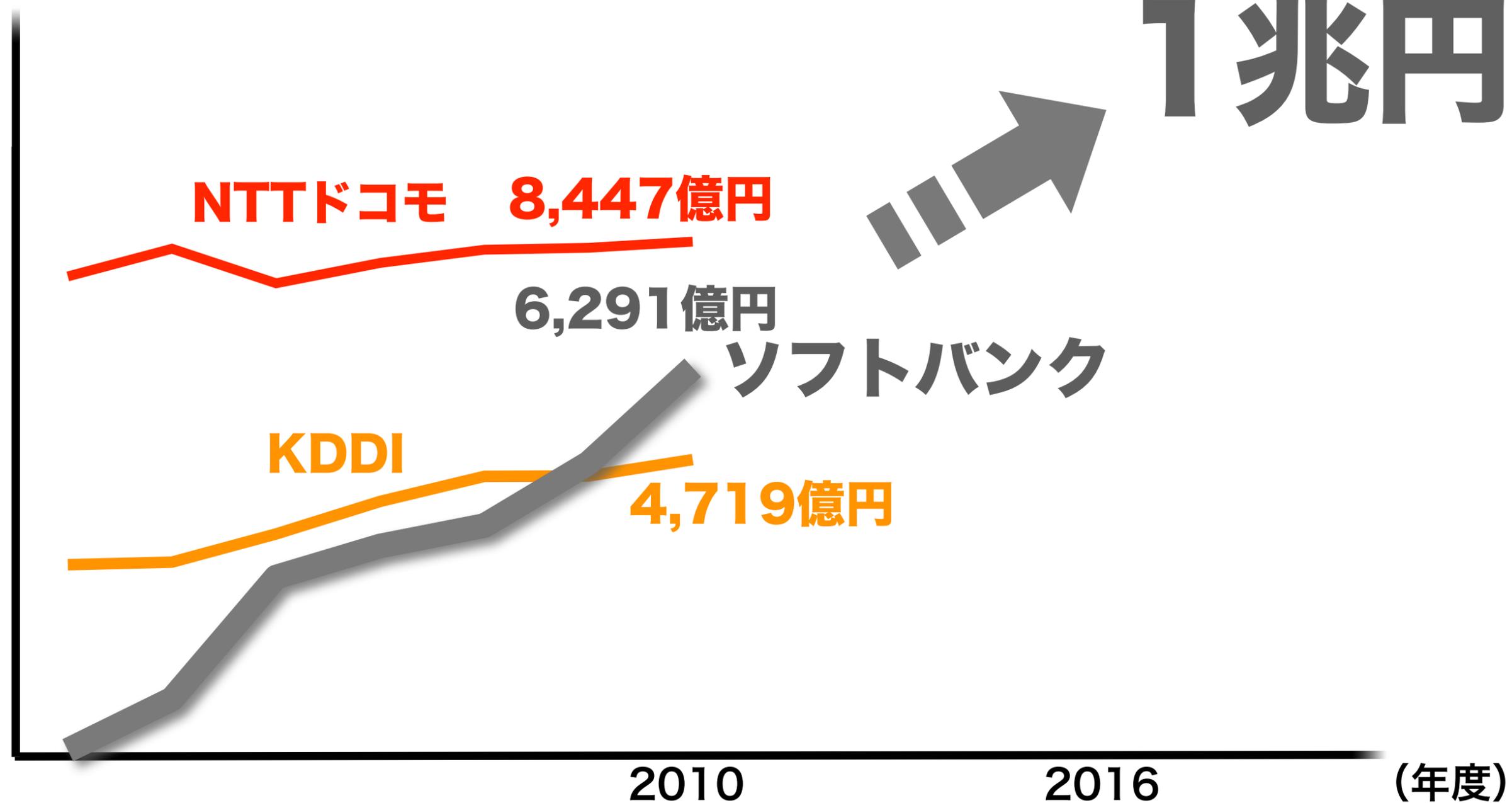


2016年度目標
連結営業利益1兆円

1 兆円企業へ

連結営業利益

2016年度 1兆円へ



営業利益 1 兆円超の企業

エクソンモービル

アップル

ウォルマート

マイクロソフト

GE

IBM

チャイナモバイル

インテル

ペトロチャイナ

サムスン

ガスパロム

ファイザー

ネスレ

バークシャー・ハサウェイ

NTT

オラクル

P&G

etc...



全世界で42社のみ

※Bloombergのデータより算出。
直近12カ月の営業利益。
1ドル=77円で換算

世界のトップ10ブランド

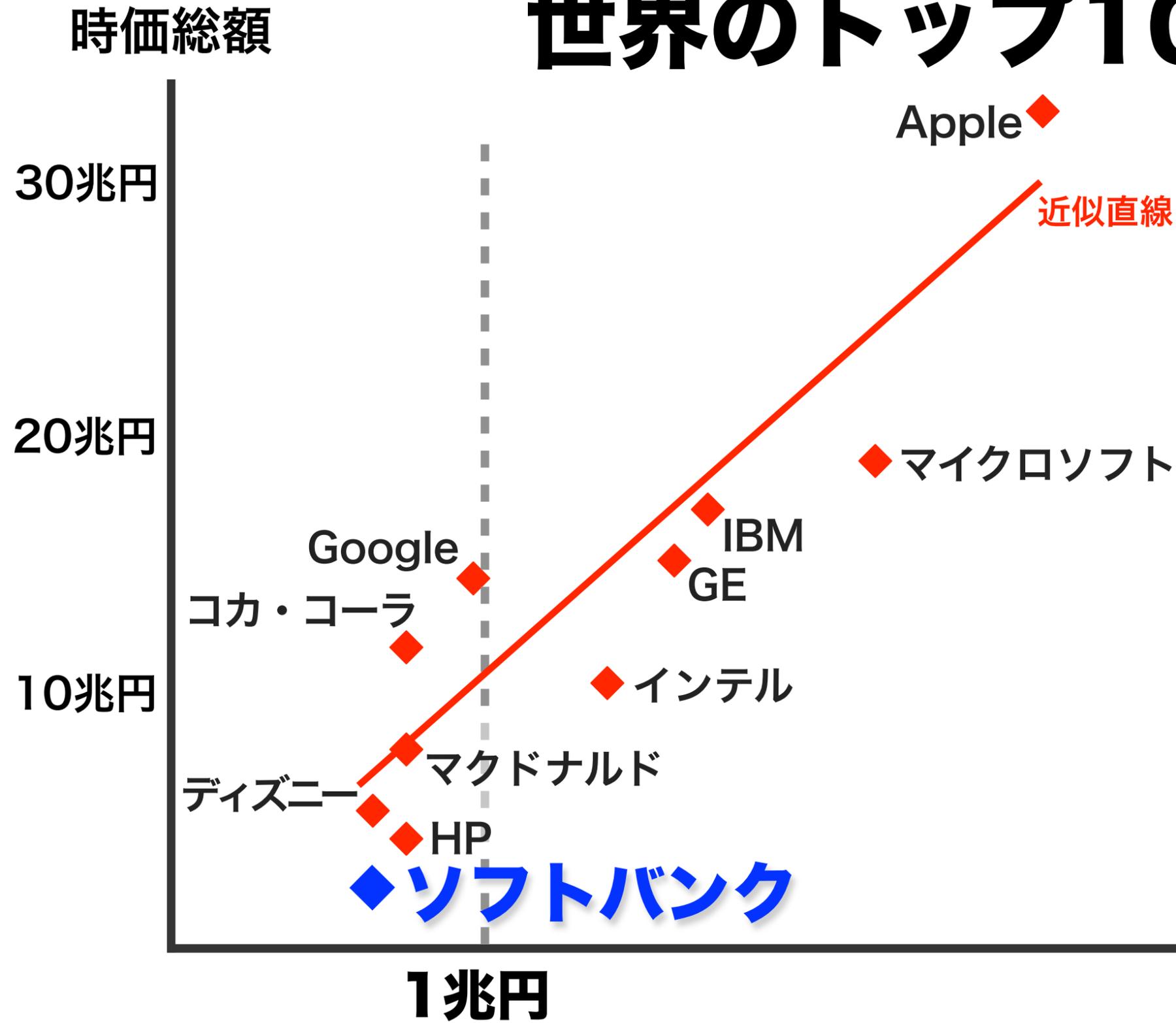
順位	会社名	営業利益	時価総額
1位	コカ・コーラ	0.7兆円	11.8兆円
2位	IBM	1.6兆円	17.2兆円
3位	マイクロソフト	2.1兆円	19.1兆円
4位	Google	0.9兆円	14.5兆円
5位	GE	1.5兆円	15.2兆円
6位	マクドナルド	0.7兆円	7.8兆円
7位	インテル	1.3兆円	10.4兆円
8位	アップル	2.6兆円	32.8兆円
9位	ディズニー	0.6兆円	5.4兆円
10位	HP	0.7兆円	4.3兆円
	ソフトバンク	0.6兆円	2.4兆円

営業利益1兆円超
5社のみ



(出所) Interbrand (Best Global Brands 2011)
営業利益(各社直近年度)
時価総額(2012年1月31日時点)

世界のトップ10ブランド



(出所) Interbrand (Best Global Brands 2011)
営業利益(各社直近年度)
時価総額(2012年1月31日時点)

ベストグローバルブランド(世界)

	1位 	2位	3位
2011年	コカ・コーラ	IBM	マイクロソフト
2010年	コカ・コーラ	IBM	マイクロソフト
2009年	コカ・コーラ	IBM	マイクロソフト
2008年	コカ・コーラ	IBM	マイクロソフト
2007年	コカ・コーラ	マイクロソフト	IBM
2006年	コカ・コーラ	マイクロソフト	IBM
2005年	コカ・コーラ	マイクロソフト	IBM
2004年	コカ・コーラ	マイクロソフト	IBM
2003年	コカ・コーラ	マイクロソフト	IBM
2002年	コカ・コーラ	マイクロソフト	IBM
2001年	コカ・コーラ	マイクロソフト	IBM
2000年	コカ・コーラ	マイクロソフト	IBM

12年連続
No.1

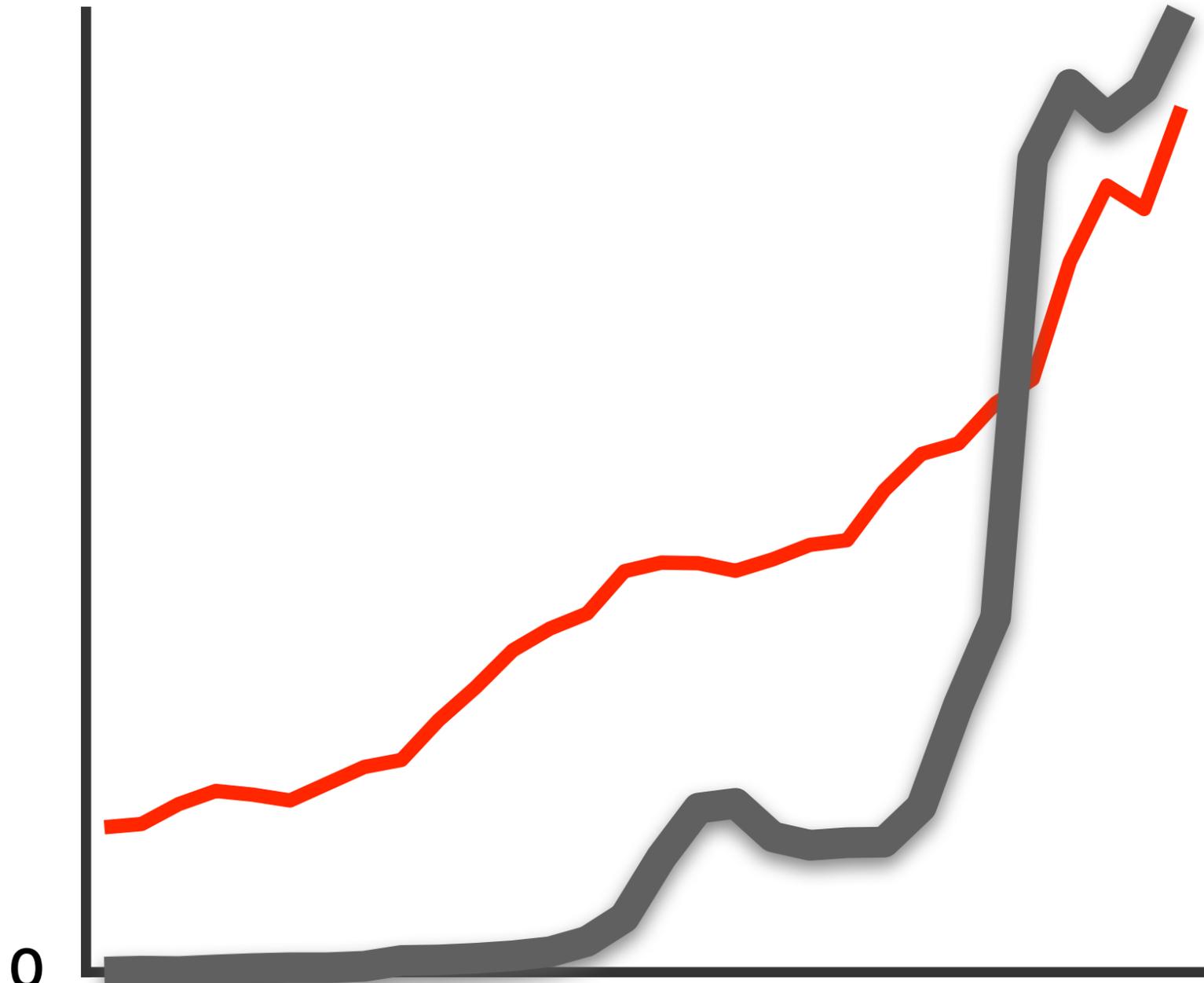
(出所) Interbrand (Best Global Brands)

売上高の比較

(兆円)

3.0兆円 ソフトバンク

2.7兆円 コカ・コーラ



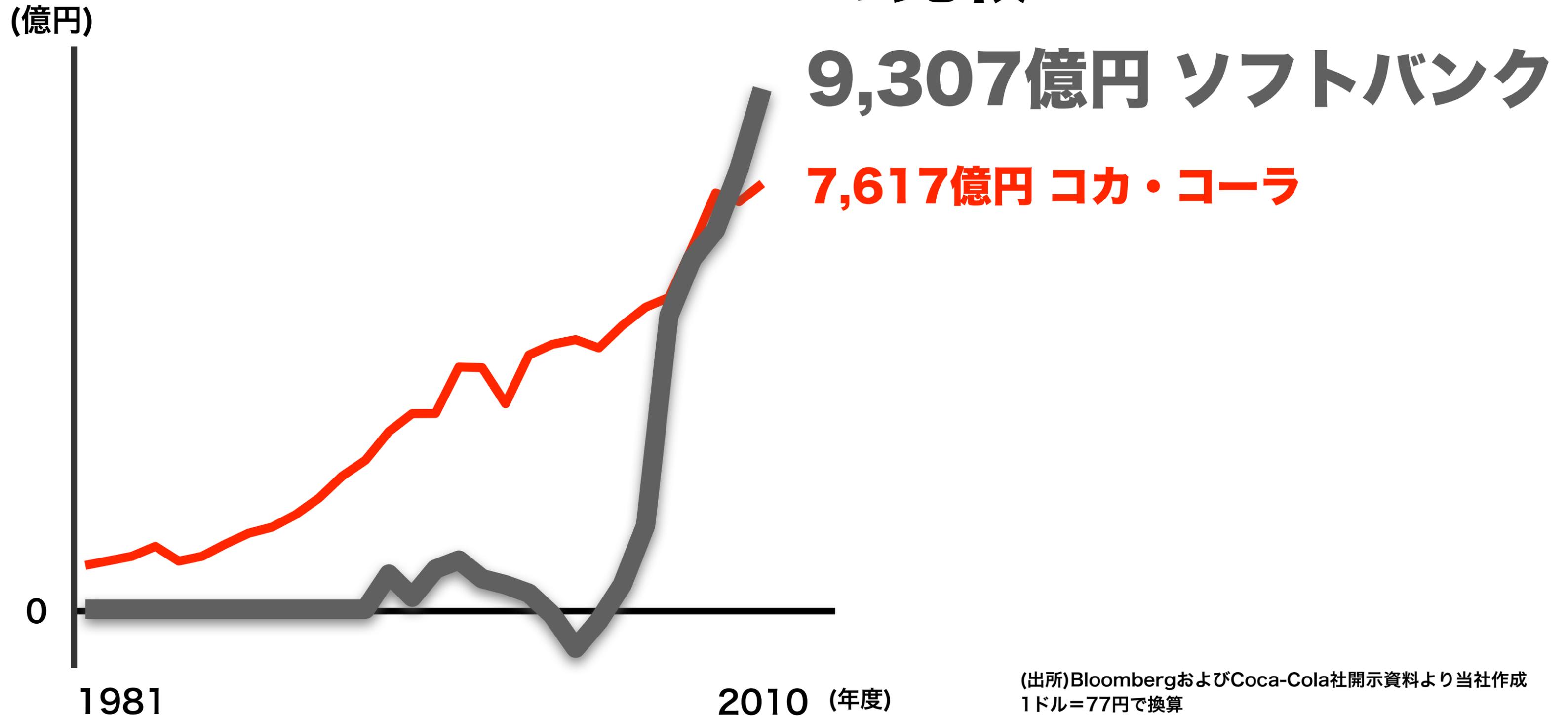
0

1981

2010 (年度)

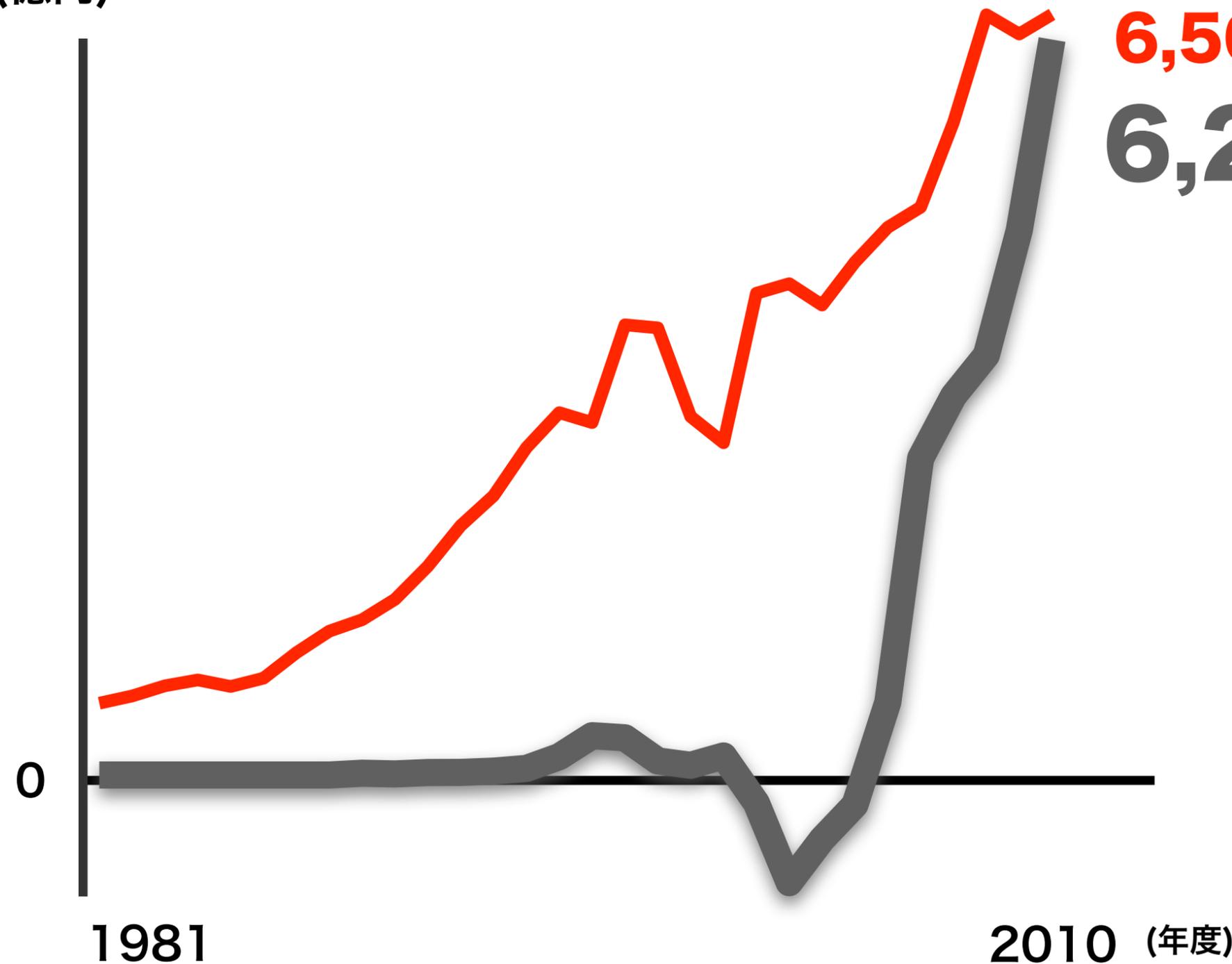
(出所) BloombergおよびCoca-Cola社開示資料より当社作成
1ドル=77円で換算

EBITDAの比較



営業利益の比較

(億円)



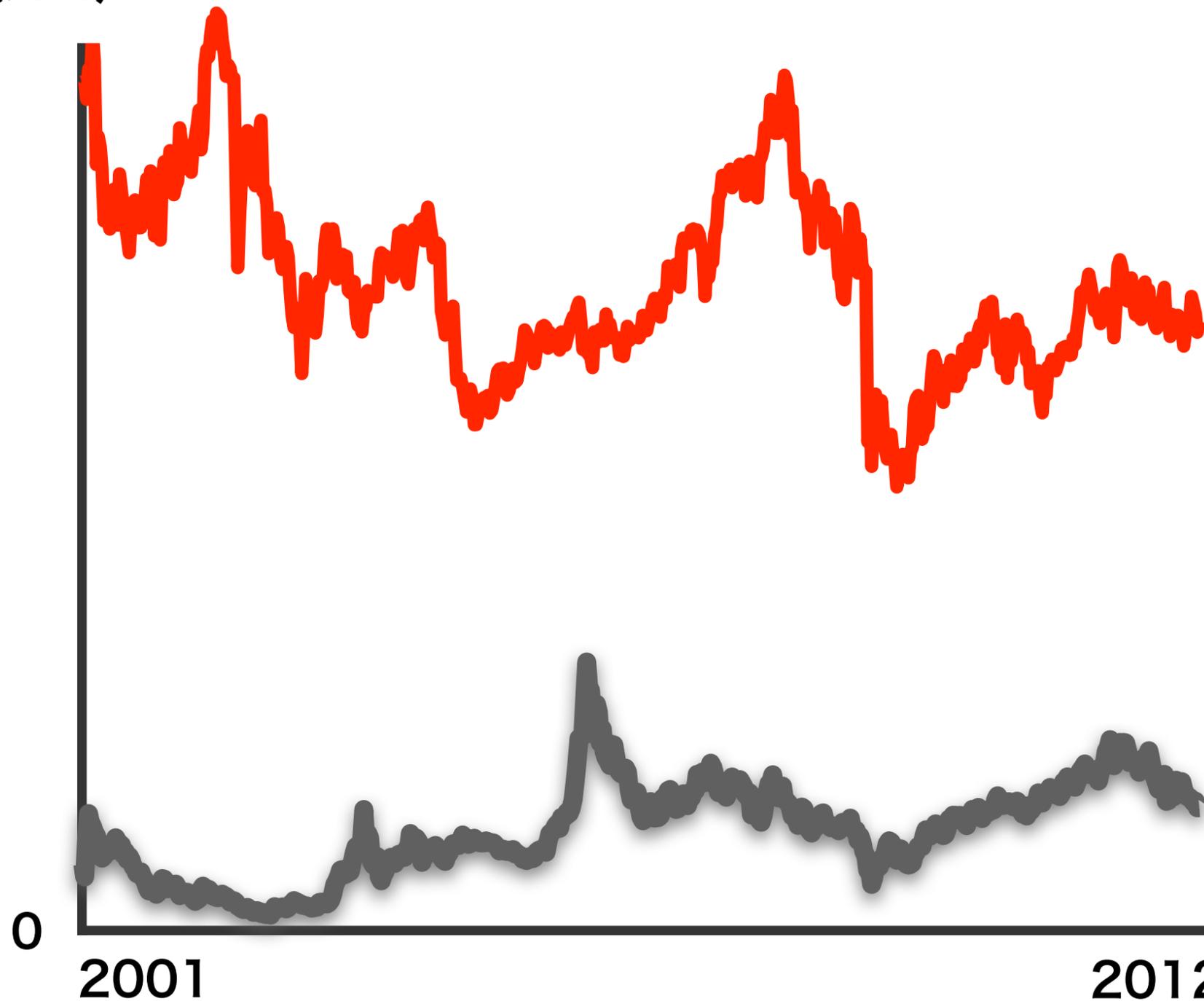
6,506億円 コカ・コーラ

6,291億円 ソフトバンク

(出所) BloombergおよびCoca-Cola社開示資料より当社作成
1ドル=77円で換算

時価総額の比較

(兆円)



12兆円 コカ・コーラ

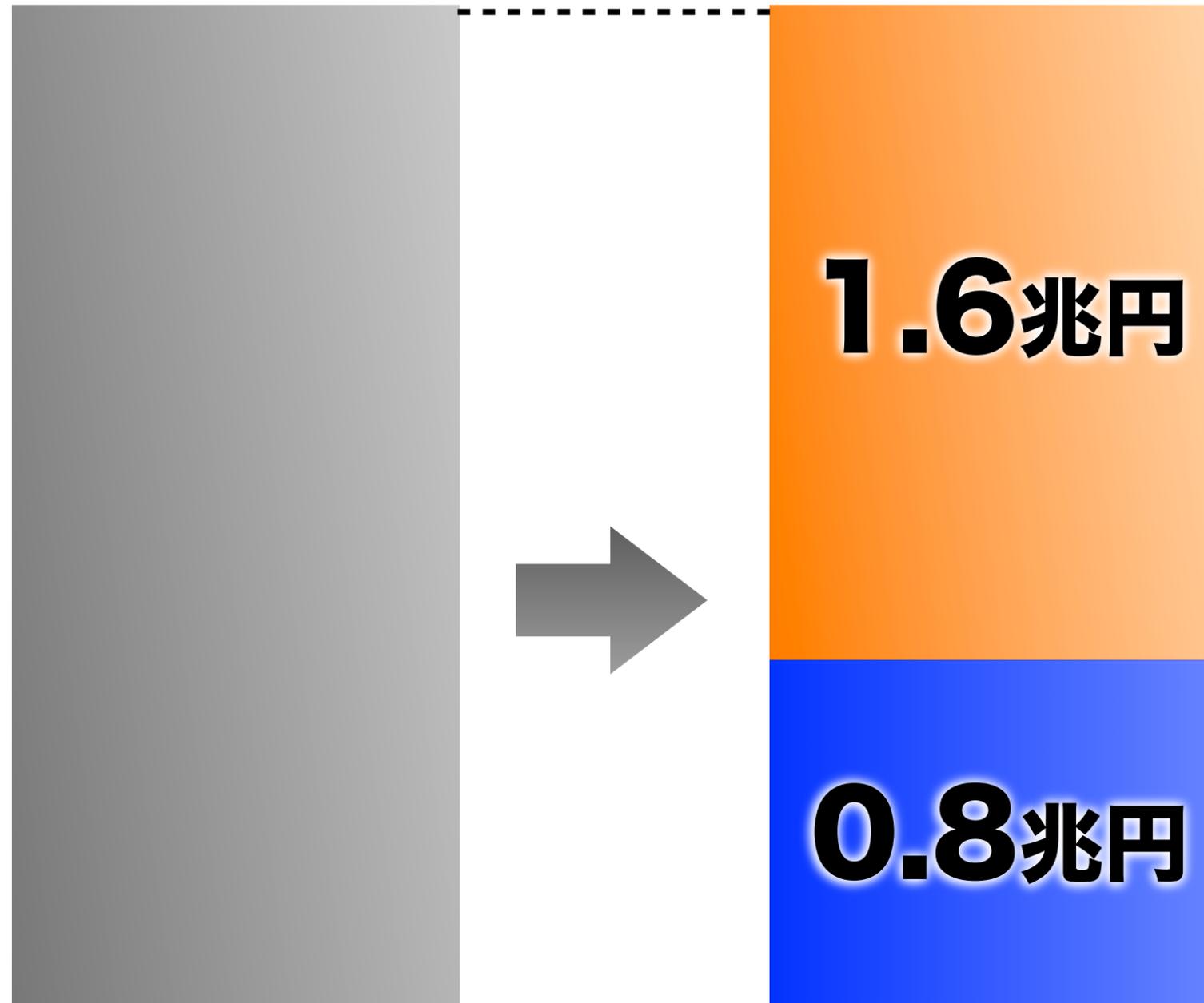
2.4兆円 ソフトバンク

(出所)Bloomberg
1ドル=77円で換算

ソフトバンクの 市場評価？

ソフトバンクの市場評価？

時価総額
2.4兆円



ネット企業群の時価総額

ヤフージャパン	5,800億
アリババグループ	8,600億
レンレン	600億
その他企業	500億

通信事業の価値

EBITDA 0.8兆円×1倍

※通信事業のEBITDAは直近12ヵ月

※時価総額は2012年2月1日現在

※アリババグループは350億ドル (1ドル77円で換算) ×32%で算出

通信企業の時価総額とEBITDA倍率

順位	会社名		時価総額	EBITDA倍率
1位	チャイナモバイル		15.8兆円	5.7倍
2位	AT&T		13.4兆円	5.7倍
3位	ボーダフォン		10.3兆円	5.9倍
4位	ベライゾン		8.2兆円	3.6倍
5位	アメリカ・モバイル		6.9兆円	4.6倍

※Bloombergデータより算出（2012年1月31日時点）

2016年度目標

連結營業利益

1兆円

The logo consists of two horizontal grey bars stacked vertically, positioned to the left of the text.

SoftBank

1. 「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用について

2010年度第1四半期から「セグメント情報等の開示に関する会計基準」および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しています。2009年度の業績は、これらの基準が適用されていたと仮定して算出した数値を掲載しています。

2. 本資料中の用語の定義等について

フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支)=営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額+営業費用に含まれる固定資産除却損

純有利子負債=有利子負債-手元流動性

有利子負債=短期借入金+コマーシャルペーパー+1年内償還予定の社債+社債+長期借入金。リース債務を含まず。ボーダフォン日本法人の買収に伴う事業証券化スキームにおいて発行された社債(銘柄: WBS Class B2 Funding Notes、発行体: J-WBSファンディング(株))のうち、当社が2009年度に取得した額面270億円を除く。手元流動性=現金及び預金+流動資産に含まれる有価証券(当社米国子会社が保有していたYahoo! Inc.株式を除く)

「過去最高」「最高益」は、当社が連結決算を開始した1994年度以降。4~12月期ベース。

なお当社は、(株)ウィルコムの子会社として発行済株式を100%保有していますが、同社は会社更生法上の更生会社であり、当社と同社の間では有効な支配従属関係が存在しないと認められることから、子会社としていません。

3. 登録商標・商標について

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。本資料の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。

- iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。

- iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。